賀正 2594

新京

滿洲國參議府
議長 張景惠
參議 張海鵬
參議 袁金凱
參議 貴福
參議 筑紫熊七
參議 田邊治通
參議 增韞

滿洲國國務院
國務總理兼文教部總長 鄭孝胥
民政部總長 臧式毅
外交部總長 謝介石
軍政部總長 張景惠
財政部總長 熙洽
實業部總長 張燕卿
交通部總長 丁鑑修
司法部總長 馮涵清
興安總署長 齊默特色木丕勒
總務廳長 遠藤柳作

新京特別市公署
市長 金璧東
總務處長兼工務處長 橋口勇九郎
行政處長 董陽

滿洲中央銀行
總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
吳思培
武安福男
劉燏棻
五十崎保司
監事 劉世忠
闞潮洗

長春縣長
縣公署一同

滿洲國協和會

國際運輸株式會社 新京支店

株式會社 福昌公司 新京出張所 新京八島通四二

滿洲土木建築協會 新京支部

株式會社 滿洲モータース 新京支店 新京八島通三二 電話三九〇八番

古河電氣工業株式會社 新京出張所 南浦辰治 新京中央通三九 電話三三三〇番

堀山産婦人科醫院 院長 堀山研作 新京蓬莱町二丁目一五 電話三一八〇番

乾寫眞館 新京吉野町

新京警察署長 高山勝司

新京地方事務所長 荒木章

南滿洲瓦斯株式會社 新京支社長 青木哲兒

新京郵便局長 高橋富十郎

新京販賣事務所長 久松治

新京輸入組合 理事 久末吉次

新京地方委員議長 辯護士 大原萬千百 新京老松町一六 電話三九三七、三九六七番

新京居留民會長 東洋病院長 田中善平 新京東四馬路 電話二一八三番

大連火災海上保險株式會社 新京出張所 所長 細井研智 新京八島通三二 電話三〇七四番

新京附屬地 各學校長一同

大信洋行新京支店 支配人 村上照一

松田商會 松田彌三郎 新京大馬路四九 電話三九四九、四七六八番

株式會社 山葉洋行 新京出張所 新京梅ケ枝町 電話長二五七一番

新京驛區長一同

滿鐵新京醫院一同

新京岡組出張所 長 濱德市 新京曙町三ノ四 電話二七八八番

合資會社 勝本商會 香川義忠 新京曙町三ノ四 電話二六六八番

福井高梨組 新京出張所 新京中央通二六

大連出光商會 日本石油製品 新京代理店 撫順公司新京支店 石橋德太郎 新京日本橋通 電話二四四三番

品川洋行支店 新京日本橋通五九 電話二五九三・三〇六二番

新京藥業組合有志

知識眼科醫院 院長 知識吉彥 新京大和通六六

羅紗及御服附屬 建築材料及塗料 加藤洋行支店 新京日本橋通

金泰洋行 新京日本橋通 電話二五九番

平本洋行 新京日本橋通 電話一五番

小關蓄音器店 新京吉野町 電話三二六一番

林洋行 新京日本橋通 電話二六五番

和登洋行 新京日本橋通 電話二〇四〇番

內田洋行新京支店 新京中央通

赤木洋行 新京三笠町三ノ三 電話二七三番

吉林榛寸株式會社 新京東五條通 電話二四一〇番

阿川組 新京日本橋通二六 電話二〇三六番

新京 ジャパン・ツーリスト・ビューロー

廣春洋行 新京吉野町二丁目 電話二〇五二番

日の丸看板店 新京吉野町 奉天濱速通

大華窯業公司 新京日本橋通 電話二八四〇番

吉野屋樂器店 新京日本橋通 電話三〇六九番

新京金融組合

やまき呉服店 新京中央通四〇 電話三八〇五番

大和旅館 新京大和通 電話二六五七番

宮崎組出張所 新京祝町二丁目 電話二一四三番

日本赤十字社 新京委員支部 朝日通二四四〇番

大阪屋號書店 大谷愛三郎 新京中央通 電話三三二一番

新京商工會議所 理事 大垣鶴藏

みしまや呉服店 新京日本橋通 電話二五三五番

加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三一〇八番

西脇洋行 新京三笠町 電話二二四〇番

森野商店 新京吉野町一丁目 電話二二五一番

太陽ホテル

當ホテル儀昨年十二月開業以來早々皆樣の多大なる御引立の許にスピード的繁榮に達しました事を厚く御禮申上ます此の機に乘じまして今年は尚一層誠意をモットーとして努力致します故何卒相變らず御愛顧の程偏に御願ひ申上ます

經營者 小泉專治
新京永樂町一丁目
電話代表四九七九番

滿蒙旅館

昭和九年の新春を迎へ謹んで皆樣の御多祥を御祈り致します尚本年も相變りませず御引立の程偏に御願ひ申上ます

電話二五〇八番
新京大和通三番地取引所前

向陽ホテル

昨年中は格別の御引立に預り有難く御禮申上ます本年は猶一層總ての點に改善を加へまして皆樣の御愛顧に酬ゆるべく努力致しますから何卒倍舊の御眷顧を御願ひ申上ます

新京大和通七三
電話代表三八八二番

富士屋タクシー

昨年中は厚き御愛顧を蒙りまして有難く御禮申上ます本年は又々最新式の乘心地良い新車を數臺、日本人ばかりの運轉手にて親切第一「御待せしないで直ぐ參ります」をモットーとして努力致します何卒相變りませず御用命の程御願申上ます

電話 四九四九 二〇九七番
富士屋旅館直營

新京滿電バス案內

寛城子線

午前	7時40分	午後	零時20分
同	8時	同	零時40分
同	8時20分	同	1時
同	同時40分	同	同時20分
同	9時	同	同時40分
同	同時20分	同	2時
同	同時40分	同	同時20分
同	10時	同	同時40分
同	10時20分	同	3時
同	10時40分	同	同時20分
同	11時	同	同時40分
同	同時20分	同	4時
同	同時40分	同	同時20分
同	12時	同	同時40分
各所同時刻發車		同	5時
		同	同時20分
		同	同時40分
		同	6時

南嶺線

滿電發		南嶺發	
午前	7時40分	午前	8時10分
同	9時	同	9時30分
同	10時	同	10時30分
同	11時	同	11時30分
同	12時	同	12時30分
午後	1時	同	1時30分
同	2時	同	2時30分
同	3時	同	3時30分
同	4時	同	4時30分
同	5時	同	5時30分

伊通線
午前 8時
午後 1時
各所同時刻發車

双陽線
午前 5時
午後 1時
各所同時刻發車

乘車料金
伊通線
双陽線
南嶺線
寛城子線

所要時分
伊通線 3時間
双陽線 3時間
南嶺線
寛城子線 15分

昭和八年十二月改正
南滿洲電氣株式會社新京支店

賀正

新京・四平街・旅順

新京

寶山燐寸工場 前田伊藏 電話三四一四番

和洋雜貨 寶山洋行
店主 前田伊藏
會計主任 奥本馨
販賣主任 山田修三
新京永樂町一丁目 電話四九六〇番

(京) 新京百貨店 新京日本橋通 電話三六三七番 三一六一番

新京旅館組合一同

寶洋行 新京日本橋通り

ダンスホール 新京會館

新京石炭商組合
松茂洋行 電話二〇四二・二五六二 東二條通
泰利號 電話三一七六・二六九〇 東一條通 日本橋通
加藤洋行 電話二〇三二 日本橋通
大昌煤局 電話三二五八二・四七一二 祝町三丁目
裕新公司 電話三三一三 北大街
仁和洋行 電話三二五八二・四七一二 三笠町
泰山行 電話二一五六 日本橋通
新泰洋行 電話二二九七 祝町四ノ四

城内 新京料理店組合一同

新京 ダンス・キャピタル 上野由人 外従業員一同

新装成るグリル 新京 扇芳グリル 支配人 落合幸之助 新京永樂町一丁目一 電話四八〇四番

御料理 一樂 新京大馬路三馬路 電話三七三〇番

理髪館 紅葉軒 新京大馬路三馬路 電話三七三〇番

新京キネマ館 館主 岸本朝次郎 支配人 三戸壽 新京祝町・電二〇六八番

滿洲金物株式會社 新京支店 新京永樂町二 電話二八一九番

東和公司出張所 新京大和通四八

東京無線新京支店 新京祝町二丁目二六 奈良眞治 電話四九二〇番

丹宗呉服店 新京日本橋通 電話三八〇三番

逍遥園 逍遥園盆栽生花 村田清一 新京吉野町

國都ホテル 新京中央通三五 電話代表四四一五番

中央ホテル 新京中央通西公園前 電話代表四一一一番

東亞ホテル 新京朝日通一七 電話代表四九二七番

新京市場株式會社

新京附屬地 カフエー組合一同

新京タクシー組合
日滿タクシー 電三〇〇三番
富士屋タクシー 電(四九四九・二〇九七)番
曙タクシー 電二六三六番
朝日タクシー 電(三二九五・四八四一)番
新京タクシー 電三四五九番

新京第一料理店組合

新京三業組合 三業檢番

割烹 やよい 新京吉野町三丁目五 電話三四九〇番

扇芳亭 新京永樂町一丁目 電話四七〇三番

美味求眞 天平新京支店 新京永樂町二丁目 電話三三九一番 本店 大連市浪速町二丁目

御料理 永樂支店 新京吉野町三丁目 電話二一七九番 本店 大連市西檢

割烹 青葉 新京三笠町二丁目 電話二九四二番

森洋行新京支店 新京中央通四八 電話三八七三番

同仁病院 新京富士町

江戸屋菓子舗 新京吉野町二丁目 電話二〇七〇番

JM[illegible]自轉車發賣元 大本商行 新京梅ケ枝町 電話四八三六番

新京興信公所 所長 清水末一 新京中央通一三 電話三三五〇番

賓宴樓 電話二七二八・二八一二番

四平街

四平街 地方事務所長 石岡武

四平街 市民協會長 鶴見次世

四平街 東信洋行 木藤品治郎

四平街 輸入組合理事 桂馨三

四平街 金融組合理事 藤森誠

四平街 信託專務 木藤格之

四平街 信和洋行 電話一九番

松昌公司 電話八番

滿鐵御用達 中村疊表具店 中村濤吉
本店 四平街仁壽街 電話一七〇番
支店 新京永樂町 電話三八五七番
出張所 チチハル中興街(龍江驛)

四洮鐵路局

四平街地方委員(順不同)
添田澤三 稻川淺二郎 木藤格之 富田登二 伊藤新八 田中佐重郎 趙漢臣 竹村石次郎 林寛一 徐會沆

四平街火曜會(順不同)
朝鮮銀行支店 正隆銀行支店 國際會社支店 交通銀行 大同電燈會社 輸入組合 金融組合 中央銀行

四平街警察署向 清水齒科醫院 京城齒科醫學士 清水峻治郎

四平街驛前 小松屋旅館 電話一一六番

四平街驛前 植半旅館 電話三〇番

四平街 日滿特産商聯合組合

四平街 滿洲日報 大阪毎日新聞 販賣店 菊池洋行 電話三一一番

櫻井敎輔

菊池國治

旅順

銘酒金正 釀造元 三勢商會 廣垣治助
卸小賣部 舊市街忠海町二八番地(電話三〇七番)
釀造所卸小賣 新市街中村町八番地(電話二八四番)

土木建築請負業 果樹園經營販賣 廣垣治助 旅順市忠海町二十八番地(電話三〇七番)

大日本優等清酒 銘酒神代 清酒福鶴 燒酎並味淋 神代 備後屋 神田商店 旅順市乃木町 電話三二三番

御旅館 寶來館 乃木町電話五六番

御旅館 防長館 青葉町電話二八三番

御旅館 旅順ホテル 青葉町電話三六七番

各社映畫上映並ニ各種興行 旅順映畫館 旅順市乃木町三丁目二 電話一七五番

和洋御料理 仕出し 食堂きむら 旅順市敦賀町角

きむら精肉部 旅順市乃木町 電話六一二番

旅順料理店組合

酒問屋 西本商店 西本勝衛 旅順市青葉町 電話一八五番

陸海軍御用達 精肉 金太屋 旅順市乃木町 電話二七五番

簡易食堂 (イ)食堂 乃木町(田村自轉車商會隣) 電話五一〇番

支那料理 徳興樓 旅順市敦賀町 電話四三七番

青葉町街燈維持會(いろは順)
池田洋行 電七四
御菓子 泉屋
原田時計店 電六六七
早瀬商店 電一六四
新見時計店 電四八〇
岡女庵 電五〇三
大阪屋號書店 電二五一
吉野洋服店 電一八六
谷疊店 電五八四
高治洋行 電八七
中野日界堂
山口商店 電二四九
やまと軒 電四九三
山本商店
松崎紙店 電一二八
文英堂書店 電二〇七
松竹 電一六一
射越屋支店 電四五
瑞章堂印房 電六三
喫茶店スヾラン 電六八一

敦賀町共榮會
井上玩具店
カフエー松金 電一三六
玉屋モスリン店 電九二
熊井洋行 電六七
カフエーコンバル
ヤマ一履物店 電五〇二
小森運動具店 電五〇一
食道樂きむら 電六一二
三笠堂
昭和クラブ
久富商店 電四二九

御履物 栗田商店 乃木町 電三四一
御履物 ヤマ一號 敦賀町 電五〇二
みやこ履物店 乃木町 電六五九
村瀬履物店 乃木町
(イロハ順)

旅順料理屋組合(いろは順)
西町 同 柳町 西町 川端町 同 十年町 川端町 同 西町 同 朝鮮町 西町 同 川端町 東町 川端町
一蛤濱東吉旅松滿京榮吾堺遊新新笑春昭
名洋田島 月城福妻 世萬福海和
力亭館軒屋屋葉樓樓樓樓樂界歲樓館樓

旅順カフエー組合(イロハ順)
ヨシノ 乃木町
太樂 敦賀町
松金 敦賀町
萬兩 敦賀町
藤乃家 乃木町
ゴンバル 敦賀町
スバロー 名古屋町

旅順飲食店組合(いろは順)
伊勢屋 聯隊前
富の家 川端町
ともゑ 乃木町
千代乃家 忠海町
千歳クラブ料理部 吉野町
岡女庵 青葉町
大阪屋 鹹島町
大迫屋 大迫町
つぼみ 名古屋町
奴壽司 鯖江町
松屋 乃木町
④食堂 乃木町
藤乃家 乃木町
文化亭 松村町
更科本店 末廣町
更科支店 乃木町
きむら食堂 敦賀町

賀正 2594

旅順

旅順要塞司令官 陸軍中將 安藤紀三郎

旅順要港部司令官 海軍中將 枝原百合一

關東廳内務局長 日下辰太

關東廳警務局長 大場鑑次郎

關東廳財務局長 中村孝次郎

關東廳高等官食堂

旅順民政署 署長外職員一同

旅順市長 米岡規雄

旅順衛戍病院長 陸軍二等軍醫正 坪倉利

旅順市會議員一同

千藏倶樂部

旅順金融倶樂部
朝鮮銀行旅順支店
正隆銀行旅順支店
旅順無盡會社
旅順輸入組合
キンユウクミアイ

關東廳内 關東州水産會 電話四七番

旅順市嚴島町 關東州水産會 旅順魚市場 電話六二九番・六五番

旅順郵便局長 富永國治

新旅順郵便局長 新旅順電報局長 鹽谷潔

旅順電報電話局長 片桐壽八

旅順市助役 岸田愛文

旅順刑務所長 典獄 宮崎德安

日本赤十字社 滿洲委員本部

旅順市富士町 滿洲蠶絲株式會社 電話五六七番

旅順市嚴島町 製鹽業 矢原商會 矢原重吉 電話八一・四四六番

陸海軍御用達 大西商會 旅順市乃木町二丁目 大西重次郎 電話二五三番
食料雜貨 大西商會食料部 朝日町市場内 電話六三一番

旅順新市街松村町二ノ三 オカノ歯科醫院 院長 岡野忠藏 電話五一三番

(いろは順)
鮫島町 稻富藥店 電話五八七番
乃木町 田中藥舖 電話三三六番
青葉町 萬代號藥房 電話四二八番
青葉町 宮竹藥店 電話一七〇番

忠勇あられ 高粱しるこ 旅順市朝日町二ノ一 東金堂 加藤傳吉 電話五三二番

旅順市青葉町 深川歯科醫院 院長 深川不二男 小船二郎 電話四七六番

旅順市乃木町 本田與市 電話(二四一・二二一番)

旅順市乃木町三 陸海運送 大六運送店 電話四六七番

石炭商 滿昌洋行 旅順八島町電話一四七番 貯炭場電話一六六番

滿鐵撫順炭特約店
本溪湖煤鐵公司代理店
千代田生命保險相互會社代理店
朝鮮火災海上保險株式會社代理店
日本麥酒鑛泉株式會社特約店
海軍糧食品御用達
石炭商 矢幡商會 倉庫所在地朝日町一丁目 旅順市八島町(電話三二一番) 出張所 滿鐵貯炭場構内 電話三〇六番

土木建築請負業 石井組 旅順市名古屋町一九 石井本一 電話一一三番

旅順市八島町 竹森病院 院長 竹森哲三郎 電話一四二番

滿洲記念品 支那土産品商 東京堂 旅順市乃木町三丁目 本店 電話六一番 振替口座大連一六六七番 支店 大連市銀座通本町角 電話二二九五番 振替大連四〇五番

旅順新市街鎭遠町 成田醫院 成田彦次郎 電話一〇九番

旅順市乃木町 自動車部分品販賣及修理 德永商店 電話四七五番

旅順市乃木町三丁目 本田商會 本田治三郎 電話二七七番・振替大連一五四九番

旅順驛前 鶏卵 りんご 月見農園賣店 電話六二〇番・振替大連二七四一番

鎌倉保育園旅順支部 旅順市新市街旭川町電話五五四番
鎌倉保育園大連分園 旅順支部 大連市老虎灘電話六九九三番

小野田セメント一手販賣店 鐵材、金物 電氣、鑛油 村上信一商店 旅順市乃木町電話一二〇番

常盤運送 ▲營業所旅順市橘立町一電話三八四番 ▲營業所大連市榮町二電話六〇八〇番 濱田公松(電話二七二番)

旅順市名古屋町六 仲野歯科醫院 電話一二九番

乃木町交番前 京阪流行御履物 栗田商店 電話三四一番

旅順市金氏羅町 トラスト製造元 タイパンストーブ販賣 石井榮一 電話三七番

旅順市西町三九 山下鐵工所 山下好太郎 電話五〇九番

旅順市松村町二十二番地 味噌、醬油、酒類、食料品、酒 醬油、粉末石鹸 三浦商店 電話六四九番

新市街大迫町一三 (K) マスヤ文具店 電話三〇四番

歐米諸雜貨、内地各新聞取次 外山洋行 旅順市青葉町 電話二四一番

和洋雜貨 藤井洋品店 新市街松村町 電話五七番

◆マルミヤ舞樂部創立 樂器 蓄音器 和洋雜貨 ◆旅順五景滿洲寫眞元 マルミヤ商店 旅順市乃木町三丁目電話六六六番

旅順市鯖江町 代書 福永新七事務所 電話三九〇番

旅順市鯖江町(警察署隣) 代書 吉安克道事務所 電話四〇四番

旅順市敦賀町 新古和洋 海渡衣服店 電話五四四番

旅順市乃木町三ノ二〇 齋藤洋服店 電話六五六番

旅順市乃木町 中山洋服店 電話三二九番

旅順市敦賀町 島村洋服店 電話一七九番

旅順市乃木町三丁目 製靴 トロンコ 澤豊太郎商店 電話五二〇番

近江屋呉服店 乃木町三丁目 電話七九番

材木、建築材料 西野商行 旅順市乃木町 電話六八番

乃木町三丁目 ゑびす屋呉服店 電話一三〇番

旅順市乃木町 麻雀園 玉突 寶來倶樂部 電話六四番

旅順市乃木町 ガクブチ アルバム 文房具 マルゼン商店 電話六〇九番

明治製菓株式會社 京城菓子株式會社 新高製菓商會 特約店 卸問屋 山岸洋行 旅順市乃木町三丁目 電話四五四番

旅順市乃木町 蓄音器 櫻井時計店 電話一九五番

和洋雜貨 ふたば屋 旅順市乃木町 電話六二一番

土木建築請負 山村組 大津町 電話五八九番

旅順市乃木町二丁目 土木建築請負 和田武吉 電話五八八番

旅順市大津町 土木建築請負 木下豊一 電話二二五番

土木建築請負業 森谷吉五郎 旅順市乃木町三ノ二八 電話四八三番

旅順市乃木町三ノ二〇 電氣機械器具 津田電氣商會 電話四六四番

陸海軍各官衙御用達、船具、金物 機械、綿糸布、タオル其他諸納入品一式 センターストーブ特約販賣店 岳南公司 旅順市乃木町三ノ六六 電話三八二番

旅順市乃木町(郵便局前) 電氣販賣 修理器具 金澤屋 涌波初三郎 電話五〇八番

圓橋商會 西田泰地 乃木町二ノ一九電話一四〇番

旅順市新市街(鎭遠町) 小梨歯科醫院 電話六五一番

井町商店 朝日町魚市場 電話三三二番

食料雜貨 山口屋 山口清輔 市場内 電話五四一番

旅順朝日町二丁目 艀船運送 造船 望月春吉 電話六三四番

旅順市鯖江町五十番地 酒 富王 久娘 入江商會 電話一九〇番

旅順市朝日町 上海號 中谷由松 電話六七三番

諸官衙御用達食料品雜貨 齋藤商店 電話一七六番

旅順敦賀一町 諸官衙御用達 久野商店 久野儀一郎 電話一四九番

書畫骨董、貴金屬 寶石、毛皮家具類 後藤勇太郎 末廣町一二 電話四三九番

各種銘茶 茶器類一式 丸山茶舖 乃木町一町目 電話一六八番

旅順市明治町 菓子製造 老樹園 電話二四六番

表具商 原榮年堂 旅順市敦賀町 電話五三三番

旅順煉瓦及煉瓦土管製造 小林治作 金比羅町八 電話五二五番

サクラ印サイダー、シトロン製造所 旅順櫻泉社 那須梅吉 電話二一八番

旅順市末廣町三五 和洋家具 裝飾製造 村田家具店 電話二六番

旅順市八島町 井上釣具店 電話六〇四番

旅順市乃木町(滿電前) 旅順タクシー 電話五六〇番

旅順市敦賀町(婦人病院前) 滿洲タクシー 電話二六二番

滿電驛前タクシー 電話五二三番

旅順市大津町一八 宮澤疊店 宮澤猛雄 電話四九二番

疊製造 奥石商店 大津町一六 奥石久作 電話三六〇番

旅順市乃木町三 宮地疊店 電話一九四番

土木建築請負 築島組 旅順市乃木町二丁目 築島米藏 電話三九七番

旅順市忠海町 土木建築請負業 磯谷捨吉 電話六〇六番

土木建築請負業 久野順吉 鮫島町一ノ七電話一五三番

土木建築請負 前西熊市 大津町四一電話三四三番

土木建築請負業 清住泰一 鯖江町一一電話五三四番

建築請負 左官材料販賣 大谷守 旅順市名古屋町八番地電話七五二番

旅順市嚴島町 水産業 木野村間太郎 電話四九五番

旅順市乃木町 新鮮第一 渡邊果物店 電話四三二番

銘酒 菊正宗 櫻正宗 金水商會 乃木町電話一〇六番

旅順市乃木町派出所前 新古自轉車並に修理 富永商店 電話四〇一番

旅順市乃木町 和洋諸雜貨 小間物毛糸類 友田商店 電話四一六番

諸官衙御用 山田活版所 山田杢次 乃木町電話五四番

旅順菓子信用組合

旅順質屋組合

寫眞器械、材料藥品、寫眞撮影 南滿公司 旅順寫眞館 乃木町三丁目交番横電話四七二番 振替大連一八二九番

旅順市新市街松村町二 成松寫眞館 電話二五九番

ヒグチスタヂオ 大連連鎖街常盤町電話二二二三〇番 寫眞機械材料販賣 樋口寫眞館 旅順市青葉町四二電話四一七番

旅順市鮫島町一 寫眞出版 印刷出版 玉井寫眞工藝所 玉井紫水 電話三九九番

宏記 呉服店 電話三一八番 精米工場 電話六六一番

賀正

普蘭店大石橋海城蓋平

普蘭店・大石橋・海城・蓋平

普蘭店民政署食堂員一同

普蘭店警察署

普蘭店居住民會長 新谷健二 電四一番

普蘭店會長 李盛新
普蘭店副會長 孫君福

普蘭店商務會長 王心純
普蘭店商務會副會長 薛智
外董事一同

日本赤十字社委員支部主幹 平野虎男

普蘭店金融組合理事 鹽澤角兵衛 電一七番

鹽業會社出張所長 杉浦仲次郎 電三七番

大栗宇十郎
多戸善一
小高兵司
植田金次郎
富浦小吉郎
鶴岡賀作

普蘭店自動車公司 金臺棧 電一三番

特產商 大澤商店 電一四〇・一五〇番

普蘭店荷馬車組合 電一四〇・一五〇番

通關業 福盛公司 電四〇番

疊製造 松田泉商店

普蘭店果樹協會 電一一五番

公認煉瓦製造 發窰業工廠 關培業

雜貨及代理業 同豐永 電一五四番

日用雜貨 石丸商店 電七番

撫順炭 小出洋行 電四番

介辨業 和泉研 電八番

代書業 東清號 電七五番

普蘭店醫院 電一二番
院長 顧原基
產婆 柳川あや

耐火煉瓦製造 滿洲窯業公司 電三二番

三十里堡 果樹組合 電話七番

石河 砂石材共同組

大連新聞普蘭店支局 電一二五番
滿洲日報普蘭店支局 電四番

滿洲日報販賣 橋商店 電一一七番
松崎商店 電九番

營口縣地方警察第二分署長 何祥麟 電一三三番

大石橋高等小學校 校長 孫金凱 外教員一同

營口縣第二區長 孫廣廷

大石橋第二區稅捐分所 主任 沙履升 外職員一同

大石橋滿洲街商務會 副會長 揚淩山

長記油坊 經理 崔興榮 外職員一同 電一一三番

大石橋驛商務會董事 東永厚經理 高耘坡

振東昔土礦辦事處 處長 高振東

大石橋驛商務會長 福興和經理 張香九 外職員一同 電七一番

大石橋滿洲街商務會 同聚源經理 會長 王玉階 外職員一同

大石橋驛商務會副會長 大信永銀號經理 滿洲報分社社長 郭子陞 外職員一同 電一二五番

大石橋朝鮮人民會 會長 鄭在龍 外會員一同

時計販賣並修繕 貴金屬商 川崎時計店 店主 川崎政泰 電呼出三八番

質屋 古物商 高知屋 電三八番

御客様本位 末廣旅館 荻野藤太郎

大石橋電燈株式會社 電話一六番

大石橋警察署長 三浦貞三

大石橋地方事務所長 倉橋泰彥

大石橋滿鐵病院長 醫學博士 中山通治

大石橋驛 驛長 石井忠一 外一同

大石橋機關區 區長 川西重作 外機關區員一同

大石橋保線區 區長 林惣太郎 外保線區員一同

大石橋列車區員一同

大石橋檢車區員一同

大石橋保安區員一同

大石橋尋常高等小學校 職員一同

大石橋郵便局 局長 折田廣嗣 外局員一同

滿洲電信電話株式會社 大石橋電信電話局長 重信二郎 外局員一同

大石橋圖書館 館長 土山觀一 外館員一同

大石橋地方事務所
庶務係長 平田淳
地方係長 猪崎勇
經理係長 日地雄
社會主事 高山八鷹十八
地方係 堀切盛秀
地方係 出利葉喜一郎

大石橋地方委員
議長 小林方治
副議長 山下義明
赤倉龍次郎
愛甲直剛
川西重作
尾藤龜松
藤井正一
伊藤謙次郎

大石橋金融組合 理事 高梨・源三

井上齒科醫院 井上竹四郎

御料理 日本館 電話一〇番

御料理 滿洲館 電話一〇九番

御料理 福住 電話一一番

御仕出し 福住庵 電話五一番

カフエードン 電話一一九番
一澄光良妙
子子子子子

朝鮮料理 金泉館

松島牧場 電話六三番

お安くいたします 梅月旅館

諸新聞取次代書業 細野芳枝 電話四四番 振替大連二七八一番

シンガーミシン 大石橋分店

北美洋服店

マグネシヤニ關スル工業 滿洲產キビガラ手工材料 大石橋福元號 福本伊六 電話一〇四番

南滿鑛業株式會社

湯崗子溫泉ホテル 支配人 齋藤千春

蓋平明興電氣股份有限公司

白川洋行

御旅館 梅・麺家 電話七番

豐順洋行 西島常次郎

石文堂書店 電話二八番

雜貨 履物 木村洋行 電話二七番

質物 兩替商 池山當 店主 池山國藏 主任 楊乃彬 外店員一同 大石橋石橋大街九九番地

南臺驛 驛長 松橋秀造 外驛員一同

海城驛 驛長 木村鐵次郎 外驛員一同

他山驛 驛長 山本瀧次 外驛員一同

分水驛 驛長 松田敬治 外驛員一同

大平山驛 驛長 渡邊與作 外驛員一同

蓋平驛 驛長 鈴木松太郎 外驛員一同

蓋平郵便局 局長 乾彥藏 外局員一同

滿洲國協和會大石橋辨事處 電(III)三八番

晝夜撮影、美術寫眞 協和會宣傳部寫眞班 滿洲日報大石橋支局寫眞班 宇代寫眞館 主 宇代耕陽 大石橋小學校正門前

中央亭 女給一同 電話一二八番

カフエー リリー
子英子 小夜子 照子
子合子 百合子
洋子 絹子
電話一二四番

日支料理 仕出し 小シズ亭
店主 電話一〇一番
ひさ子 でき子 さつ子 みち子 なち子

商易商 炭貿 石貨 定 指雜 織物 滿織
成和公司 笹山卯三郎 電(四)八五番 振替大連二九六番

女陽膠皮 柱蓋平代理店 藥種 醫療機械 衛生材料 其他雜貨 盛記號藥房 木村國太郎 電話(四)六四番 振替大連二二八八番

滿洲日報 大石橋支局
前衛守備隊 省時座美 電三八番

海城縣公署
縣長 尹永禎
參事官 高岡重利
副參事官 大道義行

警務局 警務指導官 藤田金之

警務局 行政指導官 中平信次

警務局 行政指導官 楡井信治

警務局 行政指導官 池島仁助

警務局長 滕簡章

財務局長 趙立英

教育局長 韓連昌

內務局長 尙其善

海城城內商務會 會長 辛德潤 外職員一同

海城縣農務會 會長 趙庚南 外職員一同

蓋平縣公署
縣長 辛廣瑞
參事官 佐藤虎雄
副參事官 紫尾田醇一

警務局 指導官 山口美見

警務局 指導官 袖永權藏

警務局長 高學本

教育局長 楊慶春

財務局長 馮履謙

蓋平縣法院 法院長 石或璞

蓋平城內電話局長 李聯中

蓋平商務會長 候顯讀
同副會長 王友益

柞蠶糸工場 經理 曲愼之

濟世分醫院 劉興亞

福和公遼記系廠 經理 石松泉

馬利生醫院 馬利生

蓋平城內料理業 鴻德園

蓋平城內煤炭公司 萬昌厚

(第三種郵便物認可)　昭和九年一月一日　滿洲日報　(月曜日)　第九千九百五十六號　(一)

滿洲日報

附錄 其一

竹の園生の御繁榮
皇太子殿下の御降誕

瑞祥鳳城を望むる昭和九年の元旦、吹上御苑の松は緑愈々深く、竹園には丹頂の鶴の聲さへ朗かに冴えて大内山の朝は靜かに明け渡り天皇陛下には御三十四歲の春を迎へさせられた、この春こそ天皇皇后兩陛下におかせられては、來る二十六日を以て早くも御成婚滿十周年を迎へさせられるめでたき春であり加ふるに皇太子殿下御誕生さ共に、國を擧げて御慶び申上げる新年である、陛下には玉體益々御健かに渉らせられるが、畏くも年毎に國事御多端、政治、外交、軍事等複雜多岐を極めて宸襟を煩はし奉ることが多く非常時とは云へ畏き極みである

☆

皇后陛下には、御歲三十二歲の春を迎へさせられたが、客臘廿三日芽出たく皇太子殿下を御安產あらせられ御兩親陛下の御滿悅は拜察し奉るだに畏き極みである、非常時打開の力強きかけ聲の裡、皇威は八紘に洽く國運日に振張して國光彌が上に宇内に宣揚するの時この御慶事に會したる九千萬の民草は上下抃舞、手の舞ひ足の踏むところを知らず御慶祝申上げたのである

☆

皇太后陛下には御年五十一歲の新年を迎へさせられ彌々御壯健に渉らせられ、昨春は大正天皇御登遐以來始めて沼津御用邸に行啓あらせられたが、今春か或は秋の候には伊勢神宮、畝傍、桃山、泉山各御陵へ御參拜の爲、行啓あらせられる御豫定さ承る。御日常は婦德の道にいそしませ給ふ外内外人の拜謁などご御多忙に渉らせられる時折は、宮城に御參内、兩陛下並に内親王樣方の御機嫌を伺はせられ又は皇弟殿下さ御團欒遊ばさるるなご、御親子の御情濃かであらせられる

☆

禁苑深く其處此處に照宮樣の御誕……木も床しい葉を競ひつゝ殿下の御歲をはつきりと柱に刻み、すくすくと伸びて、此處に照宮成子内親王殿下には御十歲の新春を迎へさせられた。御妹宮孝宮和子内親王樣には御六歲、順宮厚子内親王樣には御四歲にならせられ、御健かに御成育御可愛盛りで在らせられる、照宮樣には女子學習院前期二年に御通學あらせられ、御六歲の孝宮樣には何時の頃からか假名を覺えさせられて、讀本などご御讀みになり、順宮樣が御唱歌など歌はせられる御姿も御可愛らしく、宮中の御日常は彌が上にも御樂しく渉らせられるこ承はる

☆

皇弟にまします秩父宮殿下には御三十三歲、妃宮勢津子殿下には御二十六歲、又高松宮殿下には御三十歲、妃宮喜久子殿下には御二十四歲の春を迎へさせられ、澄宮殿下には御二十歲に達せられ、來る三月芽出度く陸軍士官學校豫科御卒業、士官候補生として騎兵隊に御入隊遊ばされる等、竹の園生の御繁榮は國家祥瑞の源で九千萬赤子の衷心御慶び申し上ぐる次第である

天皇陛下

皇后陛下

皇太后陛下

内親王御三方

澄宮殿下

秩父宮殿下

秩父宮妃殿下

高松宮殿下

高松宮妃殿下

伸びる新興都市

文化の姿颯爽として
滿洲國の將來を約束

滿洲事變後第三年目の新春を迎へて移り變つた滿洲の全貌を顧れば誰しも驚かないものはない。荒無不毛の滿蒙の原野に王道樂土滿洲國が實現し瞬く間に北滿に、東滿に、遼西に交通網が蜘蛛の巣の如くに張り擴げられたが、就中我々の眼を驚かしたものは滿洲各地に新興都市の現れたことだ、從來滿洲が東北軍閥の秕政の下にブロックアウトされてゐた時、恰もお伽の國の如く幻の霧膜の奧に、地圖の上にだけ知られてゐた熱河の承德、赤峰、凌源を始め錦州、海拉爾、北安、山城鎭、圖們、拉法等の各地が今日產業的、經濟的、軍事的樞要地として近代的兩相を備へた新興都市として颯爽として我々の眼前に現れて來た。況してや荒涼たる北滿の一原野に過ぎなかつた北安や、東滿の寥々たる鮮人部落に過ぎなかつた圖們に鐵筋コンクリートの銳角が蒼穹に聳ゆる雄姿を誇る近代文化相を目の當りに見ては啞然として、その生れ變れた姿に驚異の眼を瞠るだらう。而もこのほか承德、赤峰、凌源、錦州、海拉爾、拉法、山城鎭の眠つてゐた舊都市には數年前には僅か五人か十人か又姿も見せなかつた邦人が現在は三百人或ひは二千人溌剌たる建設の意氣に燃えて酷寒、酷熱の下に活躍してゐる。神秘な熱河離宮の澱んだ池水にカフエーのネオンの光が映り、離宮放飼の鹿の鳴き聲に交つて蓄音器のジヤズが聞える原始的古代から二十世紀文明への一足飛の大飛躍だ。このすく〜と伸びる新興都市の發展こそ洋々たる新興滿洲國の將來を約束した表象だ

圖們

圖們は京圖線の全通と共にその終端驛として昔の東滿の端に在る一鮮人部落から一躍交通要路としての發展ぶりは目覺ましい。邦人約四百、日本人小學校、北鮮南陽を隔てた國境だから滿洲國稅關もあり、今後益々膨脹する前途を有してゐる。咽喉を扼してゐる京圖沿線には大豆を主とし白豆、小豆、粟の特產が今後十四萬屯の產出を見込まれてゐるのだから、これで太つて行く圖們の將來は多幸なものだ

羅津

羅津は滿洲の外ではあるが新興滿洲國と共に生れ同じ運命を背負つて伸びる都市として是非擧げればならない名もない北鮮僻陬の草原はドツと移住者が內鮮から押寄せて僅か一年四ケ月で何と昨今戶數三千、人口一萬四千といふ急造の都市となつた。京圖、拉濱線の開通によつて北滿と日本內地と繫ぐ重要な港として選ばれた羅津が急轉的にこれだけの人を引寄せたのだ。羅津が終端港として決定前の人口四百三十人に比ぶれば現在三十三倍となり、毎日二十七人強の割合で增加して居り、九年中には三萬突破は確實だといはれてゐるのだからおそらく現在新興滿洲國都市の中に比べてもその發展ぶりは最も急テンポのものだらう。人口三十萬の都市計畫が既に始められてゐる。既に羅津小學校は出來上つた

拉哈

拉哈は昨今開通した拉賓線の起點として京圖線から北滿への道を繋ぎ邦人の發展が日に日にふえてゐる。今まで名さへ知られなかつたこの町に今は邦人旅館、カフエーの招牌が新興の意氣も靑々と諸所に突立つてゐる

錦州

遼西におけるこの舊都は新興都市としては最も成長の早いものだ、二年前、七年正月三日に錦州から奮軍閥の最後の殘りが追はれてから錦州は恰もゴールド・ラッシユのゴールであつた。錦州へ、錦州への聲にひかれて流れ入つた邦人男女は忽ちのうちに城內外の空家を埋めて了つた。現在邦人男女二千五百、既に成年期に入つた新都市だ。匹敵する數十軒の旅館、料亭、カフエーは既に飽和狀態になつてゐる。凌源への鐵道が敷設されるに至つて、熱河へ入る樞要地として又獸類、毛皮、棉花、甘草、棉糸布の集散取引において益々重要さを增して來るし、將來遼西における中心として重要な前途を持つてゐる

承德

滿朝離宮の古代建物に包まれた夢の都から生れ更つた新興都市だ。交通が不便なだけに未だ〜我々の眼から離てられてゐるやうだが石ころ道をトラックにゆられ匪賊の銃彈を潜り、この奥地に入り込み活動する邦人男女の意氣は斷然我々の學ぶべきものがある。先般承德在住邦人のうち百八十三名の在郷軍人が承德分會を組織して第一回總會を開き、第一線の意氣をあげた。交通不便なだけ物價は大連邊りの二倍、三倍だが二十世紀文化の息を吸つたこの都は日に日に樣相を變へ又太つて行く

北安

北安驛に降りてみれば茫々たる雜草を刈り取つた中に木の香も眞新しいバラックが約七、八百軒在り、その中を伸びる滿洲國の蟻の如き意思の如くに北方二站に繋ぐ鐵路が見える、これが北安のグリンプスだ、海克線の主要驛である北安は隣りの克山の繁華を奪つて將來特產集散地として、且又北滿ソウエート領國境に至る交通要路として軍事的產業的に最重要都市だ、建設へ、建設へと躍進する北安は鐵道工事關係その他邦人が四百、日に日に新たなる發展を謳歌するところだ

海拉爾

北滿鐵路西部線に在るコロンバイルの舊都だつた、蒙古人の毛皮と日用品の取引市場として知られてゐたものだつたが數年前邦人といへば蒙古人相手に春を賣る三、四人の日本娘だつた。それが今邦人男女五百、東蒙古の自治の中心地として蒙古人も進出し日滿蒙民族共和の實をあげ益々發展せんとしてゐる。此處の日本人小學校には邦人子弟は勿論ロシア人、蒙古人も學んで彼等がわが文化に觸れんと只管努めて居り、數年前春を賣る日本娘が壁に十年前の東京の繪葉書を貼つてノスタルジヤの淚にぬれた感傷は今は想ひ出にも考へられない

其他の更生新興都市

滿洲國背後地における新興都市の發展と共に滿洲文化の脊髓をなす關東州及び滿鐵附屬地の發展ぶりも亦素晴らしい。大連、奉天、新京及び資本金一億圓の昭和製鋼所の設立された鞍山又は附屬地から離れるがハルビンの如きは更生新興都市の面貌を現してゐる。八年十月末の調査によれば關東州附屬地の內地人人口は總人口の二割で二十七萬二千六百人、鮮人二萬八千餘人、邦人の增加は昨年同月に比し一ケ年で實に三萬六千人で、今までになく事變後は飛躍的增加だ。中にも滿洲國首都の在る新京の如きは十月末四萬二千人で一年に實に一萬餘の增加で新京の人間洪水は當分續くだらう。だから貸家の拂底は當然の現象で六疊一間が四十圓、五十圓するのも新京風景であり、奉天、ハルビンもこれに似てゐる。ハルビンは事變前在住邦人四千人足らずで潮のひく跡のやうに日に日に寂しい有樣であつたが今は一萬突破、キタイスカヤの表通りに日本着物のマダム、娘が闊歩し座敷着の裾をかゝげた藝者のつぶし島田の婀娜な姿が現れても誰も不思議がらなくなつた

寫眞說明

1圖們市街 2海拉爾驛 3拉法附近 4承德市街 5錦州市街 6鞍山製鐵所 7山城鎭

春の映畫

猛獸映畫も飛び出す 賑かな春の映畫
大作ビツクケージ
＝興味萬點の和洋混合プロ＝

各館選抜きの新春映畫中注目すべきは混合プロの編成である、時代現代と強力な封切映畫を二本揃へて、その上にまだ洋畫の超怒級を組むのだからその犠牲も大したものだけれども、その番組の強力さも絶對のものがある。

映樂館の新春番組は第一週ユニバーサル社の「ビッグケージ」に阪妻の「曉の日本」入江たか子、森靜子主演の「春告鳥」で強力さもさる事乍ら、その番組の興味萬點なこと春映畫界での白眉として推陣するに足るものがある、第二週は問題の市丸の小唄映畫オールトーキー「戀の市丸」ふんだんに市丸の美聲が聞かれる興味深いものであり、寛壽郎主演「首賣り山左郎」とロイドのオールトーキー「冒險塔」七卷がある、其他洋畫陣は「アルプスの血煙」「チヤップリンの街の大將」「モナリザの失踪」「SOSの氷山」「カヴアルケート」邦畫には「劍鬼三人旅」「燃える富士終篇」「阪妻の浪人祭」瀧花久子主演、勝太郎特別出演の「島の娘勝太郎」等が絢を競ふてエクランを飾る可くこの名畫の大洪水は映樂ファンの實に惠まれた新春と言ふ可きだらう

市丸が涙の半生
千鳥格子〝戀の市丸〟
素晴らしい出來榮へ
邦畫トーキーの最高名篇

ウヅマサ・トーキー第三回特作「戀の市丸」は滿都ファン待望のうちに五日から映樂館で封切るが「戀の市丸」にはわが國小唄界の名花「市丸」が特別出演して自ら彼女の自叙傳に主演してゐるオールトーキーであるが市丸が唄によせるあはい感傷と純情は誰でもが一生に一度は味はふ樂しい、だがかなしい初戀の思ひ出た、見るからに快よい物語であり、見る人を心から樂しませる映畫である。

◇

これは、今を時めく淺草の名妓市丸自身の出世物語を映畫化したものであり、原作は「富士」所載の長田幹彥の小説「千鳥格子」により小唄界の名花としてビクター專屬歌手として今を時めく彼女のありし日の淡い戀物語りでもあり一篇の抒情詩でもある、信州淺間の温泉町に生れた彼女が東京へなにを求めて出て來たか？そんなに迄して、彼女が求めたものが果して得られたか？誰もが人生に一度は經驗する淡い樂しい初戀の思ひ出！それを失つた代りに彼女は今日の名聲と地位を得た！人々は素晴らしい女の聲に、嵐の様な賞讃と歡呼を送る。然し、彼女自身は今どんな氣持でゐるだらう、この映畫はそれを淡々たるタッチで描き盡してゐる、演ずる者は市丸自身に、珍優關時男乃木將軍の孫で村田正雄門下の俊才だつた月美彌夫、それに櫻井京子が一役買つて出てゐる、監督は、日活東京本社宣傳部長だつた水島正雄の第一回のメガフォンであり、撮影は太秦發聲の至寶町井春美、錄音は熊澤晴保、音樂は定評ある松平信博である、尚本映畫と同時に、寛壽郎淡路千夜子主演の「首切山左郎」「ロイドの冒險塔」全發聲七卷が同時に封切られる豫定である。

ロイド映畫と戀の市丸の
沿線配給權を獲得
長興行合資會社

素晴らしい前人氣に封切當日を鶴首されてゐる、市丸主演の「千鳥格子戀の市丸」並にパテー社全發聲七卷「ロイドの冒險塔」珍しやチヤップリンの艶笑物「街の大將」の全滿並に全滿鮮の上映權獲得シーズンの王座を目がけて君臨せんとする映樂館々主長次郎吉民の長興行合資會社（大連市越後町）は目下沿線各地の常設館から引も切らぬ申込みに忙殺されてゐると言ふ不況時代に此處ばかりは景氣の好い話に花が咲いてゐるさいふ物凄さである

第三週は アルプスの血煙
阪妻の燃える富士終篇

松も取れる第三週は各館共に、出足のにぶるのを恐れて何れも第一週に劣らぬ強力番組の編成に努力してゐるが、中でも呼物中の呼物映畫としては、PCL第二回音樂トーキーとして出色の出來榮を謳はれてゐる「純情の都」ユニバーサル社超特作全發聲「アルプスの血煙」ルイズ・トレンカア主演監督の雪溪アルプスにナポレオンと戰ふ愛國青年等の苦鬪を描いた巨豪篇に阪妻、森靜子主演「燃える富士」完結篇の大混合プロを組む映樂館の陣容は一般から期待されてゐる、尚ほ同週間特別上映として瀧花久子主演「島の娘勝太郎物語」も封切する由だが、同映畫にはビクターレコードお馴染の葭町勝太郎が特別出演して自叙傳を飾つてゐる原作は「戀の市丸」同様老巧長田幹彥が當つてゐる

映樂館 京阪神と
新興映畫 同時公開

當地映樂館は今春、新興キネマ本社との提携の結果、正月番組より東京、大阪、京都、神戸、福岡と同一番組で公開することに決定した。今後は植民地大連に於いて道頓堀辨天座或ひは淺草電氣館と同日に同映畫を見られる譯で、映畫ファンに取つて實に有難い福音と言ふ可きであり。同業の興業家連からは其の實績の如何を注目されてゐる、因に料金は特に大衆料金で臨み飽くまでも大衆本位をモットウとしてゐる

【寫眞説明】
上圖「戀の市丸」の市丸さん
中圖左阪妻の「曉の日本」
同右「春告鳥」の入江たか子
下「首切り山左郎」の嵐寛壽郎

鞭うたる者

待望の一九三四年

芥川光藏

暮れの廿二日であつた。しさしさ降る雪の中に男がマンドリンを弾いてゐる。それに倚りかゝつて若い女が本をひろげて唄つてゐる、その側に男の子が手風琴で唄を合はせてゐる……すべて十八世紀頃の風俗、そしてその繪に

〃あなたのクリスマスが嘗て無き樂しきものでありますやうに〃

さいふクリスマス・カードが投げ込まれた、そしてミスター・エンド・ミセス・モールズ、ミス・マーガレット・モールズからさ書いてある。

モールズ……はて誰からだらう？スタンプは確にワシントン・デイー・シーだ。

……◇……

一昨年であつた、米國の農務省から約半歳に亘つて滿洲大豆の調査研究の爲に一人の青年技師が派遣されて來てゐた。幾度か北滿の穀倉地帶を旅行し滿鐵からも農事關係については澤山の資料をもらつて歸つて行つた

その當時大豆に關するあらゆる事項……農民生活、耕作、收穫、搬出、交通、農産工業等々……をフキルムにも記錄したのであつたが、さうした方面について何かにつけて私はその一端のお手傳ひが出來た、彼の歸國の頃はもうずゐぶんさ仲好しになつてゐて、それでは左樣なら明日の船には僕見送りに行くよさまで約しておきながら、さう／＼そのまゝで別れてしまつた。

その人がモールズ君、夫人同伴家族づれの滯滿であつた、マーガレット孃は可愛らしい七、八つの孃さんである金髪に赤いリボンなごつけてはれ廻つてゐた、長い間ヤマトホテルに泊つてゐたから自然私はグリルでお友達になつた、小さい日本人形をくれたらトテも喜んでしばらくはそればつかり抱へてゐた。

……◇……

記憶はハツキリ甦つた、あのモールズ君からだ。

別れてそれきりなのであつた、だのに何で今度の音りなのだらう？だが、私を思ひ出してくれた事は事實だ、うれしい事だ。

だのに、私は忘れてゐたのだ、モールズ君……クリスマスカードを受取つて……それが一寸の間であつたにしろ思ひ出しにくかつたさ云ふ事は何さしても相濟まない

……◇……

モールズ君が來滿以前既に米國農務省では東支鐵道ハルビン農事試驗場を中心に大豆映畫を製作してゐた、このフキルムは滿鐵でも持つてゐるがモールズ君の話では同氏の友人が撮影製作に當つたさうである。

かうしたふうに米國ではドイツ同樣に滿洲大豆に注意をしゐるので從つて映畫の記錄においても甚だ關心が深いのである。

……◇……

滿鐵弘報係においても滿洲特産の大宗大豆については完全な記錄映畫を、幾年かけて待望してゐるのであつたが耕作から收穫までなほそれからの過程を充分記錄するために兩三年の繼續撮影を覺悟せねばならないので事變記錄その他仕事に追はれ／＼て未だに果し得ない。

……◇……

映畫による滿洲建國の外貌の紹介は未だしさ雖もその幾ばくかは果された、前線工作の概況も今日までの情況は殆ご撮り盡された。

一九三四年この年のプログラムには滿洲經濟工作の紹介が吾等の手によつて述べられなくてはならないのは自然である、それは獨り大豆フキルムだけではない、新設鐵道の經濟價値について……或はこれによつて齎せらるべき交通量の増加即ち經濟開發……等々について一九三四年はまた御奉公に多忙の年である筈さ思つてゐる。

……◇……

別れたきりであつたモールズ君から「嘗て無き樂しきクリスマスを迎へ給へ」さいふ便りは期せざる便りであつただけに私の喜びは意外に大きかつたが、その意外は私にさつて大きい暗示であるさ同時に捕く私を鞭うつものでもある

(八・一二・二五)

正月映畫展望

◆…數的に興行的に躍進した一九三三年度の滿洲映畫界、また滿鐵映畫の世界的進出、地方映畫館の改裝發聲再生機設備等々内容的に躍進した滿洲映畫界の一九三三年度を送つてこゝに迎へる一九三四年の新春。更に一大飛躍を約する各種の畫策を前にしてその意氣込みを示すのが新春映畫陣である

◆…さてならべられた新春映畫の内、問題視される作品は何か。先づ日本映畫では日活の「丹下左膳」がある。伊藤大輔監督が無聲時代の話術をマイクをかゝへてごう處理したか、聲壁時代劇に躍る大河内傳次郎の劍戟にファンの興味が集中する。藝術的價値は第二義さして大衆を攫む野村芳亭監督の豪華繪卷「沈丁花」、この二本が自他共に許す二大作品である。

◆…惑星さして注目される作品は横濱シネマの「海の生命線」で記錄映畫さして日本映畫に珍しく内容的であり且つ興行に成功した非常時國防映畫である。新興キネマで最も期待される作品は銀幕に返り咲いた小杉勇が内田吐夢監督さコムビした國策映畫「警察官」が内容的迫力を誇つてゐる。特異な作品では流行小唄の花形市丸自演のJOトーキー「戀の市丸」があり、番組の揃つたもので娯樂價値百パーセントのものに「嬉しい頃」さ「鯉名の銀平」のオールトーキープロが控へてゐる。

◆…洋畫ではファン待望のメトロの超特作品「グランドホテル」がある。グレタ・ガルボを始めバリモア兄弟、ウオーレス・ベアリイ、ジヨン・クロフオード、ルイズ・ストン、ジヨン・ハーショルトの七大スターがグランドホテルを舞臺さして競演する米國映畫界未曾有の大スペクタル映畫である この映畫ファン期待の「グランドホテル」に對して一般人の娯樂映畫さして相當の木戸錢を奮發せしめるものにRKOの「キング・コング」がある。これはトリック映畫の最高峰を示すもので身長六十呎餘のコングが恐龍、大蛇、翼手龍さ大格鬪し遂に生捕れて紐育に現はれ高架鐵道を押つぶし摩天樓上で飛行機を鷲攫みして見せるさいふ戰慄的大獵奇映畫で「グランドホテル」さ共に洋畫の二大作品である。

◆…その他洋畫大作品では題名が通俗的でない關係から餘り一般に知られてゐないが、大サーカス映畫「ビック・ケーヂ」がある、これは世界一の猛獸使ひさして有名なビーチーが特別出演して猛獸使ひのスリルを描いたユニバーサル近來の超特作品であり「四十二番街」は米國が再びレヴユウ映畫を復興せしめた動機さなつたワーナー・フアストの大レヴユウ映畫で「グランドホテル」「米國の暴露」さ共に一九三三年度のベスト・テンに入る作品であらう

正月の映畫陣

日本一の美男で 笹野權三郎名鎗傳 日本一の鎗の名人……

日本一の美男で日本一の鎗の名人と謳はれた笹野權三郎が義によつて三日月城下に忍び入り、君側の奸を除く笹野名鎗傳中の最も面白き一節を映畫化した「三日月笹穗切り」は日活館宣傳子が「鎗の權三を演ずるに千惠藏程の適役はありますまい」と誇る片岡千惠藏主演映畫で、惡人ばらの飽なき暴虐ぶりに對して、覆面の女劍客の飛躍、變裝せる忠臣烈士の變幻自在の活躍、颯爽たる笹野權三郎の大殺陣——と息をもつかせぬスリルの連續、興趣正に百二十パーセント、而も詩情溢るゝ稻垣浩の監督ぶりは、流麗、明朗たる石本秀雄のカメラの美事さと相ならんで、千惠藏映畫中近來の最大傑作となつてゐる。新春第一週を飾るには最もふさはしい、面白い、美しい映畫として期待されてゐる。

【元旦より三日間日活館上映】 夏川靜江主演 炬火 日活館上映

文壇の中堅作家として知られた加藤武雄近來の快作品として轟々たる世論を捲き起した問題の小説を映畫化したもので、美しい山村を背景に地主の娘と小作人の伜との間に芽生えた悲しくもはかない戀を描いた農村世相の斷面圖で、湯の乙女夏川靜江のかうした方面における演技は既に定評あるところで、夏川を助くるに中田弘二、市川春代、山本嘉一、大原雅子等現代劇部の粒選り腕達者を揃へたところ、日活が如何にこの作品に大きな期待をかけたかを知ることが出來る、監督の熊谷久虎は前作「一韃首有罪」で一躍大監督の列に入つた俊鋭である、正月第一週上映のものとしては惜い位に實のある映畫であるが、それだけに觀た人は充分に滿足せられるであらう。

光芒燦たり不朽の名作 金色夜叉 WE式オールトーキー

明治文壇に君臨し、幾多の名作を發表した尾崎紅葉が、千古に遺す不朽の傑作として文學を語る程の者は勿論、文學を知らぬ者に至るまで「熱海の海岸——一月十七日——貫一お宮」と言へば直ぐにも肯く程有名な「金色夜叉」の映畫化で、而も在來の無聲映畫から一躍世界最高機能を誇るW・Eシステムによるオールトーキーとして製作された劃期的作品で、今日まで幾十回となく製作された聲なき金色夜叉は玆に總決算され、今までの啞の貫一お宮は玆に聲を得て新たなる感激と熱涙との世界を開拓したのである、監督は「戯れに戀はすまじ」を製作してトーキー監督として第一級的存在を示した青山三郎で、貫一には鈴木デンメイ、お宮には特に時代劇部の山田五十鈴、荒尾讓介には高木永二、赤樫滿枝に伊達里子といふ適役揃ひの豪華キャスト、その試寫を見た中谷日活專務が「丹下左膳に匹敵する現代劇部の大收獲」と絶讚し「眞實の涙は矢張り現代劇にある」と激賞して措かなかつたその作であるから、近來稀に見る大珠玉篇として新春封切映畫中「キング・コング」「丹下左膳」と共に最も期待されるものであらう（日活館正月第三週上映）

一刀兩斷！ 妖劍閃く凄愴感！ 隻眼隻手の魔劍士丹下左膳の血笑！

「ウツフツフ……」
星明りに照らされた屋敷町の一角——無氣味な笑ひ聲——
突然！紫電一閃、
血腥い風がブーンと鼻をつく。
「ウツフツフ……」
又かすれた無氣味な笑ひ聲が……
アッ！丹下左膳だッ！
劍妖丹下左膳が血に狂つた笑ひ聲だ……。
隻眼隻手の魔劍士丹下左膳——今や聲を得て捲土重來！

而も世界最高機能を誇るW・Eシステムによるオールトーキーである。伊藤大輔は竟に日本映畫界が達すべくして達し得なかつた發聲映畫の最高峰を極めたのだ。
全日本の映畫人はあらゆる讚辭を伊藤大輔に送つた。
全日本のあらゆる大衆は、今や聲を得て颯爽たる隻眼隻手の丹下左膳を、拍手の怒濤もて、歡呼の嵐もて迎へたのである。
この映畫を見ぬ者は、竟に永劫に日本映畫を語るの資格を失ふであらう。
オールトーキー「丹下左膳」は我が時代劇界に新しい第一段階を作つたのだ。「丹下左膳」以前の時代劇は既に遠く後方に忘れられて了つてゐる。
この新しい段階を踏ますしては今後の時代劇の段階に足を入れることは出來ぬ。
W・E式オール・トーキー「丹下左膳」は斷じて見逃すべきでない（愈々正月第二週——四日より日活館上映）

鼠小僧次郎吉 道中篇

大河内傳次郎が鼠小僧と長澤屋との二役を演じて大好評を博し、殊にラストの格鬪の場面では鮮かなカッチングによつてグン〳〵觀客をひきづつて行つた山中貞雄の「鼠小僧次郎吉」第二篇はぐつと趣を變えて、時代の驕兒鼠小僧の血と涙を描きながら、一面山中貞雄自身が人間次郎吉に限りない愛慕同情の涙をよせてゐる、人の心の溫かさがヂックリと畫面に滲み出た佳品として期待さるべき一篇である（日活館正月第四週キングコングと同時上映）

素破ッ！危いッ!! 大連全市壞滅!? 身長六十尺の大怪獸 突如！大連を襲ふ!!

是は二十世紀の驚異だ！
映畫のみが始めて表現し得る科學の勝利だ！
我等はこの映畫を見て、先づ我等自身の眼を疑ひ、我等自身の精神に異狀なきかを疑ふであらう。
何しろ、前世紀に住んでゐたといふ身長六十尺——遼東ホテルか天滿屋ホテルの高さ位もあらうといふ大ゴリラが、のつし〳〵と突如現代のニューヨークに現れ出たのだもの。
高架線は飴ン棒の如くへし曲げられ、大劇場はマッチ箱の如く叩き潰され、急を聞いてかけつけた警察自動車も、消防自動車も、只一攫みに握り潰され、只一足に踏みつぶされて了つた。
そして最後に、この大ゴリラは世界最高のエンパイヤステートビルディングの頂上に立つて、數臺の飛行機と凄慘、壯烈な戰ひを開くのです。
といつた樣に、この映畫は徹頭徹尾出鱈目である。勸筋などはどうでもよい、只六十尺の大怪獸キングコングを縱橫自在に動かし、それに配するに前世紀の巨獸——恐龍翼龍等——と現代文明の利器——飛行機、自動車等——とを以て相搏ち相戰はしむる所、只々映畫技巧の極致として驚歎するの外はない
この映畫が一たび發表されるや、世界の全映畫者は舉つて、この映畫と類似の映畫を製作し「キングコング」人氣は今や全世界の隅から隅までを風靡してゐる。如何なる人も見逃す事の出來ぬ正月封切映畫中第一の豪巨篇であらう

菊池寛の傑作 蒼眸黑眸 日活館上映

文壇の大御所菊池寛の原作を日本のルネ・クレールと謳はれた才人鈴木重吉が監督したもので、鈴木デンメイ、市川春代、大原雅子、一木禮二がガッチリ四つに組んで近代戀愛生活の種々相を明快に描き盡してゐる。殊に驚歎すべきは鈴木重吉の靈腕で、彼の映畫的なタッチはこの近代生活の明暗二つの戀愛觀の對立をあらゆるアングルカラから覗いては蒼眸と黑眸——所詮それは相會はぬ双曲線だ——の異る魅惑に迷ふて双曲線上に赤い狂戀の舞踊をたどる人の姿を遺憾なく描き出してゐる。この映畫において、白と黑との光の階調は今や正に金と銀との燦爛たる輝きである。正月第二週「丹下左膳」との同時上映は恐らく新春公開番組中の最高水準を示すものであらう。

千惠藏の股旅もの 渡り鳥木曾土産

「瞼の母」に「一本刀土俵入り」に而して「彌太郎笠」に、千惠藏本來の面目は股旅ものにあるとも言へる位、千惠藏の股旅ものは定評があり、又すべての人が期待してゐる所でもある、これはその千惠藏久方ぶりの股旅もので、一宿一飯の股旅仁義と戀とローマンスの葛藤を描いた、才人伊丹萬作久方ぶりの快心の力作である。全篇彼の皮肉なユーモアと纏綿たる情緒を湛え、而も千惠藏映畫獨特の明朗性と次から次と相ついで襲ひ來るスリルの連續は觀る者をして息もつがせぬ感激の渦の中に捲き込むであらう。「金色夜叉」と組んで正月第三週日活館上映

吉例日活館 早朝興行

日活館は昨年正月の早朝興行が非常な好評であつたので、今年も昨年同樣吉例早朝興行として正午十二時までに入場された大人は特に各等共三十錢を引く由であるが映畫は午前十一時より午後五時までの晝間興行を連續二回興行とし（入れ替なし）夜間興行は普通の如く午後六時半開映する由

正月入場者に 福袋贈呈

日活館は昨年正月に二萬三千圓を上げたので今年は是が非でも三萬圓を突破させればと、番組の編成にも苦心の後を見せてゐるが、尙サービス第一主義のモットーのもとに元旦より三日までの入場者每日先着二千名へいろ〳〵な品物を入れた福袋を贈呈し日ごろの厚情に酬ひる由である。

日活館の 懸賞發表

昨年末、日活館が「日活館の經營をおまかせいたします」と大きく出て、同館の正月番組の編成を懸賞募集したところ、今までに類のない珍しい、興味ある懸賞だといふので俄然ファンの間に異常の大好評を博し、玄人筋の間にまで大センセーションを起し、問題發表の翌日より來るわ〳〵一日平均五百通の投書が舞ひ込み、應募總數實に四千通を突破するといふ素晴らしい成績で、日活館宣傳部では正月前の最も多忙な時を投書の整理に忙殺されてゐたが、いよ〳〵二十日〆切後（二十日以後配達のものでも二十日の消印あるものは特に採用）愼重審査考究の結果、左の通り正月番組の決定を見た

第一週　三日月笹穗切り
　　　　炬火
第二週　丹下左膳
　　　　蒼眸黑眸
第三週　渡り鳥木曾土產
　　　　金色夜色
第四週　鼠小僧次郎吉道中篇
　　　　キング・コング

軍用犬と實戰

楳本彌助

わが陸軍では、今から十四五年以前、たしか大正八年、世界大戰における軍用犬の活動に刺戟せられて、歩兵學校で研究をはじめられたが今日では内地師團の若干、獨立守備隊等で極小規模ながら飼育せられてゐる。

西歐各國特にドイツでは、世界大戰の數年前諸般の準備をとゝへ、次の戰爭には軍用犬を使ふことを考へて、組織的にクラブを作つて優能犬の飼育を奬勵したものである。而して一九一〇年にはすでに四百頭の軍用犬を有し、一九一四年開戰とゝもに多數の犬を戰場に送つて、犬の軍用的效果の偉大なることを確認し益々軍用犬の充實を計つたものである。ドイツの軍用犬の大部分は、牧羊犬として國内の牧場に活動してゐたシエパード種であつた。英佛墺露の諸國もこれに刺戟せられて犬の使用を開始し、戰爭中期以後において活動した列強の軍用犬の數は驚くべき數に達したものである。而して戰後における歩兵聯隊には十數頭の軍用犬を常備してゐる次第である。かくの如く戰爭がはじまつてから、各國が軍用犬を直に戰線に送り得たのは實に各國がそれぞれ優良な犬を國内に養つてゐたからで、急に應ずることが出來たのである。

◇―◇

ひるがへつて我が國における犬はどうかといふに、日本の粟を食ふ犬は實に四百萬頭の多きに上つてゐるが、ほとんど低能犬であつて彼等を招集しても、一部が漸く運搬犬として使用し得るに過ぎない有樣である。これは犬に罪があるのではなくてわれ／＼が動物に對して餘りに無關心、いな寧ろ彼等を畜生として蔑視し、放任してゐた結果である。

近年犬に對する理解をふかめ、各所にクラブが出來、優能犬飼養熱が勃興しつゝあるのはまことに愉快に堪へないと共に、共進會等においても血統とか標準體格とかに偏重することなく、各種競技により能力比較に重きを置くことを希望する次第である。

◇―◇

軍用犬に適する犬種は、シエパード種、ドーベルマン・ピンシエル種、エアーデル・テリヤ種、ロツトワイレル種、コリー種等で、獵犬や闘犬は殆ど軍用犬としては絶望のやうである。ことにシエパード犬は最適で、これに匹敵するものは餘り多く見當らないが、何しろ高價のもので一頭四百圓見當から八百圓、千圓といふ値段がするので、陸軍省においても豫算の關係上、時たま十頭か二十頭づゝ購入するだけである。

滿洲事變の際、軍用犬の必要が叫ばれて、獨立守備隊では軍用犬を守備勤務に使用せんがため、主として第二大隊で、板倉少佐（戰死）等が飼育し訓練してゐたものを使つたことがあつた。これがわが國に於ける軍用犬の實戰使用の最初であらう。彼ら無言の戰士（戰犬）は教育訓練の半ば敢然起つて戰鬪に參加した。

とくに北大營の夜戰に於ては、その勇猛なる一犬は、奮戰力闘敵數名を嚙み倒し、重傷を受けるも屈せず、敵の咽喉にくひ下りつゝ、名譽の戰死を遂げた壯烈さには、參加將兵をしていたく感動せしめたのであつた、また各所の戰鬪に於て、斥候に傳令に、彈雨をものともせず活動して、或は暗夜鐵路の巡察兵と共に白雪をふんでこれに從ひ、巡察兵の耳目となり、突進、敵をもとめてこれを倒し、以て貴重なる兵士の生命を救ひ、或は零下三十度の寒夜に萬象の凍る音を聞きつゝ、歩哨または滑伏斥候の補助として活動してゐるのである、兵士もいまや無二の戰友として、軍用犬と寢を共にし、食を分つて、相扶けつゝあるのである。

殊に夏季に至ると匪賊の出沒が多いので獨立守備隊では、先年の夏季、高粱の繁茂期までに沿線六ケ大隊に軍用犬約百十頭を配布したことがある。

◇―◇

これらの軍用犬は、主としてシエパードであつて、それも滿洲シエパードである。滿洲シエパードが、そのスマートな姿を見せ始めたのは僅々數年前に過ぎない。滿鐵が積荷の泥棒被害に手こずつた揚句、周水子に番犬訓練所を設け本場のドイツからこの犬を取りよせた、それが最初である。

それ以前に北滿に、ハルビン・シエパードがあつたが、在住のロシア人は、物資缺乏のため食ふや食はずで犬など養ふ餘裕のないために、愛犬をどし／＼外に捨てた、この爲めにハルビン・シエパードは非常に亂脈に落ちた。

いま、滿洲には青島シエパード種の軍用犬も多い。青島を近く控へてゐる滿洲が、これまでこの犬を輸入しなかつたといふ事は、寧ろ奇蹟といへる。青島はドイツの租借地であつたために、自然青島には早くからこの新しい犬が本國から輸入されてゐた。青島の警察に、アントシユウキツチといふドイツ人が勤めてゐた。この人は青島がドイツの手にある前より青島の警察署長として赴任して來た人である。この人が本國より二、三種のシエパードを連れて來た。これが青島シエパードの現れた最初である。

されば青島におけるシエパードの歴史はかなり古いのである。青島におけるシエパードは、青島戰爭によつて甚だしくその系統の混亂を來したのは爭はれない事實である。犬は總て系統を尙ぶ、これは馬のペチグリーと同じことである。青島が支那に還附されて、一層青島シエパードは混亂してきた。今日滿洲のシエパードのファンはハルビン・シエパードと對稱的に青島シエパードの語を以て一種の侮辱の意味をこれに加へる。要するに青島シエパードの系統の正しくない事を意味してゐるものである。

そして軍用犬といへば、一にも二にもシエパードである。それに刺戟された譯でもあるまいが、滿洲國や滿洲警察でも、警察犬としてシエパードを使ふこととなつた。軍隊によつてトップを切つたシエパードは、かうして軍用犬より警察犬となり、日本全土の愛犬家に異常な衝動を與へたのである。そしてシエパード・ファンなるものが急速に增加した、その急テムポには一驚のほかはない。いまに我が軍用犬型なる一種の體型を整へることが豫想される。【寫眞は滿鐵線で守備兵が使用する軍用犬】

善鬼惡鬼（303）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

血は血を招く（五）

「お濱どの」

「何ですえ」

「おぬしは毒を以て毒を制するさいふ事を御存じであらうな」

「なるほど、そんな事を云ひましたつけね」

「惡鬼のやうな兄重太郎は、夜叉のやうなおぬしの手で殺されたのだ」

「さういふ事になりますね」

「夜叉ひさり、終りを全うするわけはあるまい」

「五郎さん、お前、私をどうしやうさいふのです」

お濱は爛々さして光る五郎兵衛の目を見つめて、そろ〳〵しはじめた。

「逃げる氣か」

「お前は、お前は」

いざさなれば兄よめを楯にさつて、よけさほしたお濱だつたが、今、その楯が危なくなつて來た。

火の出るほどに光りはじめた五郎の目を睨みかへしてゐたお濱、だしぬけに、全くだしぬけに、さつさ身を沈めるさ、五郎兵衛の手首をがばさ咬みついた。

「う丶」

苦しくなつて手を引いた五郎兵衛は、引いた手が刀の柄にかかつたよりも、斬りつけた方が早かつた。

が、刄の下をくぐつて、陸へさびつかうさしたお濱も早かつた。際どいさころで、白刄は斜にすべつて、お濱の片脚を、ぶつつり膝がしらから斬つて落した。

水もたまらずさいふ太刀筋。

「しまつた」さ叫んだ五郎兵衛はぐいさ突き出したこの太刀に、お濱は兩手でしがみついた。

「未練ものめ」

怒りに怒つて、手許へ引いてさつた白刄にお濱は兩手の指をばら〳〵さ取られて了つた。

船底に打ち倒れて、仰向に五郎兵衛を睨みながら

「惡黨、外道、こ、こ、これほど思つてゐる私を、ムザ〳〵さ手にかけたな。殺すなら殺せ、たさへ身體は殺されても、魂は生きかはり死にかはり、おぎんに祟つて見せる。おぎんばかりか、お前さ、おぎんの間に出來たがきに祟つて七生迄も憂目を見せるから、か、かくごをして待つてゐるがいい」

怖ろしい執念だつた。ふり上げは上げたもの丶、五郎兵衛の刀の下し場がなかつた。

「長吉、拙者、隨分、人も斬つたが、轟流片手劍法の腕前でも、女の妄念は斬りにくいのう」

五郎兵衛はあさで、聲をふるはして云つた。

なぶり殺しのやうにして、斬り込んだお濱の死骸で、眞赤になつた血の海に、刀を洗つた時分、船頭たちは皆逃げて了つてゐた。

そのかはりに、陸の方には夥しい捕手の人數が、あるものは、陸から、あるものは船を出さうさして、ひしめいてゐる。

入れ代つて騒々しい敵を見渡すと五郎兵衛、急に氣をさりなほして

「はははは、おぬしたちなら、何百人居つても大根を斬るよりやさしいのだ。併し、無益な殺生は愼んでやる。やい捕手の人數、よく聞け、最愛の妻子はあつても、添ひさげられぬ妻子だ。所詮、此世にのぞみのない轟五郎兵衛。この儘其方たちに手柄をさしてやりたいが、まだ一つ、思ひ殘した事がある。拙者はこれよりお茶の水の岸へ舟をまはして、駒込吉祥院へまゐる。そのつもりで、おぬしたちば、あさにつくなり、先きまはりをするなり、勝手な道から、吉祥院へまゐるがよい。下手に邪魔だてをするさ、何百人でも斬つてすてるぞ。左樣心得るがよい」

聲高々さいひわたして、ニッコリ笑つた。

「御用々々」の聲が、かちどきのやうに犇めいてゐる。

「長吉、舟を出して、お茶の水へまはせ。しつかり漕げよ、おぎんさ倅にいさま乞ひの爲めの弘誓の舟だぞ」

からから〳〵さ笑ふ聲は瀬しく〳〵品川の濱一杯にひゞいた。（終り）

キネマと演藝

丹下左膳
日活發聲時代劇　日活館上映

マイクを抱へた伊藤大輔監督が、不振の日活トーキー陣に見事ヒットを放つた作品さして期待された問題の映畫である。

◇……◇

ファンの興味は伊藤大輔さ大河內傳次郎の名コムビがトーキーに蘇る大岡政談以來のお馴染の妖劍丹下左膳の颯爽たる登場であらう。大岡政談では乾雲坤龍の名刀を繞つてスリルの豐かな爭奪戰が展開されたのであるが今度は「こけ猿の壺」の爭奪を中心に物語が展開するので第一篇では重態の司馬十方齋の道場乘取りを目論む後妻お蓮が柳生源三郎の婿入りを阻止する陰謀さ日光修築の大役を仰せつかつた伊賀藩が「こけ猿」を探索する二つの事件の綾が織出され、丹下左膳が登場して源三郎さ劍を合すが再會を約して刄をひくまで丶、柳生源三郎の卷さもいふべき丹下左膳の序曲である。

◇……◇

この物語はこの一篇では第二義で問題は伊藤大輔監督のトーキー手法である。マイクを抱へて場面をごう處理し展開したかにある。最初の夜廻りの拍子木につれて素晴らしい移動が源三郎御宿の前に止まつて鼓の與吉さ締卷お藤が登場する、それから場面が快く進んで鼓の與吉さチョビ安のおつかけごつこから橋下の非人小屋の場面になるまで息もつかせぬテクニックの頻發で、例へば特に非同時性を活用して刺客隊の聲文さ出發、お登勢の會話さ十方齋道場の紹介、音の相似性を利用してオーバーラップで場面の轉換——按摩の音さ拍手——生花のハサミの音さ植木屋のハサミの音——源三郎の歎から鼓の與吉の歎へ——等々。マイクを抱へても流石に伊藤大輔たさ感歎せしめテクニシヤンたる彼の全貌が潑剌さ躍る映畫構成の巧さに（人生案內やその他のロシア映畫の片鱗を思ひ浮べつ丶）陶醉してゐる時、突如さして昔の伊藤大輔趣味へ轉換する。卽ち丹下左膳出現の非人小屋の場面であるが、こゝであれほど長く中村英雄の演技を賣つて前半の技巧から離れればならなかつたのか、月を見てチョビ安が唄ふのを聽いて突然丹下左膳が感傷的になり、俄かに緩やかな敍情的場面が續く。それから劍戟へ轉じてカメラを掃ゐ放し丹下左膳さ柳生源三郎の鍔合せでは手法が三度變つて演劇的さなる、これは舊風な手法さして却々面白いが、この場面で終らず其後があるのは蛇足で惜い。以上が大體この一篇で示した伊藤大輔のトーキー處理術の大要である。

◇……◇

さて大衆が見てごうか、先づ第一に光つてゐるのは鼓の與吉の山本禮三郎である。少々オーバー・アクト氣味なのが關西辯さ共に俗受けすると請合である。次はチョビ安の中村英雄で非人小屋での鼓の與吉及び丹下左膳さの會話はやんやさ喜ばれやう。役柄もよく臺辭もしつかりしてゐるのが柳生源三郎の澤村國太郎でトーキー俳優さしての地位を確保して立派な演技を示してゐる。丹下左膳の大河內傳次郎はトーキー俳優さして矢張り難物ぢやなからうか、これは第二篇以後を待たねばならないが。

ビッグ・ケーヂ
ユニヴァーサル映畫　映樂館元旦封切

米國第一の猛獸使ひであるクライド・ビーテイーを主演者さしたユニヴァーサル社の大サーカス映畫で殆ご全篇が野性の猛獸を使ひこなす物凄い場面で埋められてゐる卽ち二十頭の虎さライオンをサーカスの大檻の中に追ひ込んでビーテイーが鞭さ椅子さ空彈で猛獸馴らしを見せるのである

……×……

ストリーは簡單で最後のヤマ場はサーカスの興行でビーテイーさ猛獸の妙技がクライマックスに達した時、突如暴風雨さなりサーカスの大天幕が破れて猛獸が一時に荒れ狂ふ危機に直面してビーテイーが決死的手腕を揮つて觀衆の生命を救ひ猛獸は再び檻の中に納められる——

……×……

この最後の場面に來るまでも度々猛獸使ひの危險を銀幕に危機一髮の迫力を以て描き出してゐる凄い場面の連續である、これはクルト・ヌーマン監督が猛獸さ人間の闘爭を狙つた戰慄さ興奮へ向つての凱歌であるさ共に撮影者ジョージ・ロビンソンのカメラがよく自由自在に動いて各場面に迫力を盛つた結果でもある　猛獸使ひのスリルを描いてこれ程觀客に手に汗を握らせ息を凝しめるサーカス映畫は初めてゞ動物映畫好きの大連のファンの喝采を浴びるとだらう

沈丁花
松竹豪華篇　中央映畫館上映

タイトルにある如く文字通りの松竹蒲田の豪華篇である全國ファンから募集した投票によつて監督配役を決定したものであるが、眞にオールスターキャストで重な俳優だけをあげて見ても岩田祐吉、岡讓二、竹內良一、川崎弘子、田中絹代、八雲理惠子、岡田嘉子、江川宇禮雄、齋藤達雄、藤野秀夫、飯田蝶子、伏見信子、奈良眞養、新井淳、宮島健一、坂本武らで主演配役は岩田の鷲雪、岡の白風、竹內の星人、川崎の有爲子、田中の玉葉、岡田の幽香、江川の愛胡である。

……◇……

作品は全く野村芳亭好みで大衆的に纒め上げて大作品らしい風貌を備へてゐる、殘念なことは伏見の脚色さ共に後半物語の運びが餘り省略され過ぎて原作の味が伴はぬことである。その他原作を讀んだものにはいろ〳〵な註文が出るだらう、例へば玉葉が田中では若過ぎる——觀音像の競爭が省略されてゐる幽香が途中から行方不明になり最後の場面の扱ひ方が原作さかけ離れてゐる等々

しかし一般ファンはそんな點に拘泥せず豪華な配役に魅惑され芳亭監督の大衆味に煽られて蒲田の特作品を面白く銀幕に見て滿足するだらう用意さ企圖がはつきりさ看取される點、老巧野村芳亭監督の勝利で、この一篇では原作は第二義で松竹大映畫「沈丁花」である。

建設中の國都

【寫眞說明】（上）關東軍司令部新廳舍（中）建設局より新設市街展望（下左）文敎部のモダン廳舍（下中）國都建設局（下右）街頭設備

"滿洲體育"改造論（上）

岡部平太

一、滿洲國體育動向

新興滿洲國が體育を以て文治の重要なる一項目と考へて居ることは種々の施設において略これを窺ひ知ることが出來る。

隣接せる吾等にとつても極めて興味深い問題であるし十分の注意を向けて居るが自由の立場において傍觀するに時々その方向に就いて根本的に所見を異にする點があるので茲に聊か卑見を述べる次第である。

凡そ體育を以て一國の政策に利用することは近代國家の爲政者達が等しく採つて居る政策であり、適當な手段だとも思ふ。

その最も成功したものがチエコ（ジユネーヴ以來不愉快極まる印象を與へたチエコではあるが）のソコール運動である。

ソコール運動の本質は體育を基調とした民族自決運動である、チエコはソコールが起したと彼等は信じて居る。

ソウエートは最初スポーツを以て資本主義の所產としてこれを敵視した。然し途中からその偏見を捨てゝ今ではソウエート自身の體育を奬勵しつゝある。

ムッソリーニのファッシヨにはファッシヨ一流の體育があつて今やその方面でも世界の視聽を集めて居る、斯かる意味でナチが何をやり出すかは次の興味ある問題である。

模倣を捨てよ

しきりに傳へらるゝ處によれば滿洲國にありては滿洲國體育協會の設立、極東オリンピックの參加萬國オリンピック加盟權の獲得等等、等。

これ等の事業の一つ一つの完成は相當骨の折れる事柄である、然し根本においてこれ等は既に事務的には形式の結成、固定を見たる事柄であつて强ひて憂國の士を待つまでもなく、事務的に運び得らるゝ形式上のこと柄に過ぎない。

だからよしそれが出來たからとて、國策に强く影響することはあり得ない。

體育が眞に國策にあづかり得る點は、斯かる形式上の問題でなくもつと根本的の問題である。

ドイツを見よ。ベエルサイユ條約に於て軍備制限を受くるや疲弊困憊の極にある國民に對し、體育團體の總動員をやつて一は青年の氣力を振起し一は軍備に對するかくれたる準備とした。即ちドイツ一流の體育國策であつた。

マーサリック博士の虐げられ萎縮せるチエコの民族に究明に植ゑつけたソコールの體育運動が半世紀以上の地下工作から漸く時を得てチエコの獨立を齎した。

そこには何等形式の模倣もない全く獨自のものであつた。

滿洲國の青年が幾時代の久しき動亂によつて蒙れる精神的打擊は到底順境にあつた吾々の想像を絶する處である。

彼等の精神に於て牢固として拔く能はざる痼疾ありとすれば、その因は到底一朝一夕の形式的手段によつて拔くを得ざる根本的のものである。

之に對してほどこさるゝ手段が尋常一樣なれば結果も亦知る可きである。

體育立國の根本策

さあれ青年には已み難き體力の自然の爆發がある。之に方向を與へるものが各種のスポーツであり體育運動である。

虐げられたる民族には虐げられたる民族獨特の精神的鬱積がある。建國が民意の熱意ならそこに精神的な大きい爆發が伴ふ可きだ、滿洲國の體育立國策の根本はそこに樹立さるべきである。

精神的題目をかゝげて青年を導かうとする考へは結果において多くは失敗する、何故なら青年大衆は斯かる題目の結論を却てその題目の提唱者達よりも先に知つてゐる、從つてそれよりも先に行動に出る。

世間の所謂精神運動がその源流を涸渇するは常に青年のこの動向に觸れ得ざるが爲めであつて、これに反して青年大衆の精神的動向が體育と融合して現はるゝ時その力は殆ど無際限である。ヤーンがドイツ體操を起したときその練習生はエナの大戰に全部戰死したと傳へられる。

古代オリムピックは彼の時代ギリシヤの精神護國運動だつたのであるが今日のオリムピックの國際精神とは精神において全然別のものであつたのである。滿洲國人の間に建國新興の意氣ありとすれば青年には更に猛烈なる鬪志の存在すべきである。

その鬪志を鞭うつことこそ滿洲國の體育でなければならぬ。彼等がオリムピックに參加しやうとしまいと、そんなことは畢竟するに枝葉末節の形式的問題たるに過ぎないのではないか。

滿洲國の體育は形式をはなれ更に一歩深くその動向を衝くべきで少くとも因襲的な模倣からは國策としての體育は何者も導き得ないのではないか。

具體的の方案は本稿には割愛する。

二、滿洲體育の改造

批判なき滿洲體育界

滿洲の體育界には十分の批判力がない從つて種々の問題が極めて微温的だ。

例へば茲に一人の柔道家があつて職業拳鬪家と公開の試合をしたとする。そのことの善惡ではなく所謂柔道としてはそれは根本的問題ではないのか。柔道團體として斯かる問題は決してその態度を不問に附し得らるゝ問題ではないのである。

自分は拳鬪も好む、曾て東京において拳鬪の道場を造る計畫もして見た。またこれに似た問題のために講道館とは絶縁になつて居る（講道館ではその後二度程昇段させたから脱退屆は握りつぶされてゐるらしいが）

そのためこの問題が今滿洲の柔道界で問題にならないのを見ると不思議に思はれて仕方がない。

これは一例に過ぎないが、滿洲の體育界では斯かる根本的な問題が批判されることなく葬られる場合が非常に多い。

滿洲體育協會の改造問題の如きもこの新しい狀勢に直面しては否應なしに起つて來なければならぬ問題でありながら何時まで經つても起りさうにないのは、元來その創設者の一人であつた吾々にとつて物足りない限りである。

何とか一日も早く組織を變革してこの新狀勢に處して活潑なる活動をなして貰ひたいものである。

變態的な滿洲體育

滿洲體協の組織は成立の根本において極めて變態的である。それは十年前成立當時の已を得ざる事情によるもので、この變態的形式は今日迄の滿洲體協の成長には却て效果的ではあつたが、今日體協が十分に活動し能はざる理由も亦成立當時その儘の變態的形式に起因することが多い。

滿洲體協の實體を解剖して見るに財政的な基礎は滿鐵、關東廳、大連市役所の寄附とによつて成り立つ。茲に注意すべきは維持會員は競技者層とは殆ど關係を有たないといふことである。從つて年何回かの形式的な總會があつても役員以外一人の出席者もなく議論もなく財政は補助母體の經費節減に遇つて年々萎縮の一途を辿つてゐる。

體協事務の運轉は構成せる常務理事會において決せられる。然し常務理事會も決して直接の競技者層に近接せるものでないから直接競技の利害關係の圈外にあるといつてよい。從つて直接動いてゐる滿洲體育の分子と體協は今日では殆ど何等の關係を有たない存在になつてゐる。

更に滿洲體協獨特の方法は滿洲及び大連においては滿鐵運動會に對しその附屬的存在であるといふことである。

滿洲體協が振りかざしてゐる對外的事業の多くは實質的には滿鐵運動會の事業の受けつぎに過ぎないものである。

斯かる變態的形式は日本全國何處にも行はれない滿洲獨特のものである。

危機を孕む滿洲體協

斯る變態的形式に於て所謂イージー・ゴーイングを續けて行く限り滿洲體協には一歩の前進もあり得ない、それはこの形式上當然のことと云はねばならぬ。

組織に對する改革の輿論も起らなければ、事業に對する大衆の聲もきかないが實のところ滿洲體育の全體から見て體協の組織は今日既に空虚でしかない。

柔、劍道、野球がその性質上最初から體協に合流せず、ラグビーが全日本の組織に合流し、體協を離れたるは相當の理由ありとするも、最近に至り、體協の主要分子が體協に對し悉く、反動的であることは將に滿洲體協の危機と見るべきではないか。

陸上競技は態よく見限りをつけて分離した。之にならつて氷上競技も同一の歩調をとつた、陸上と氷上は比較的進歩的な體協の構成分子でありまた最も有力なメンバーでもある。

もし他の團體も機熟すれば一々體協と分離すべき機運に來て居る

更に體協にとつて致命的な障害は滿鐵運動會の萎縮である。滿鐵運動會が經費の關係上從來の如く對外的に（滿洲以外と）十分なる接觸を有ち得なくなるにつれ、體協の事業は殆ど無くなつたと云つてもよい。

新春球話

滿倶監督　中澤不二雄

感謝列傳

普通の日、御本名を書いては御叱りを受ける虞あり、待機茲に機會到る！御居餘の行を期待して、新春、朗かな感謝列傳に進軍する

一、大きな手と强い瞳

昭和二年夏八月、全日本の興味を賭けて全國都市對抗野球大會が開かれた、炎暑烈日も、ものかは壯烈な白兵戰相ついで、神宮球場は感激と興奮の坩堝と化した

滿洲代表たる滿倶の面々、神に祈り力を盡して奮戰、全國制覇の榮冠を獲得したが、その蔭に、感謝すべき大きな手と强い瞳が存在した

滿倶の試合が始まらうとする時、選手席に現れる彼氏は、二十名の選手全部に大きな手で力强い握手をしながら、强い瞳で、「頑張るんだぞ！」と暗示する

そして試合中は選手から手うつしの泥だらけの手に、ステッキを握りしめて、强い瞳で戰況を注視し片言隻語も發しない、力の現れか無言の感壓か、まこと彼氏は、滿倶優勝への守護神であつた、彼氏こそは、當時滿鐵副社長に就任した松岡洋右氏、其の人である

二、實のある電話

昭和二年八月十日午後四時、神宮球場のサイレンは第一回全國都市對抗の優勝を祝福するかのやうに聲高らかに鳴り響いた

松岡副社長、理事齋藤良衞氏、片山義勝氏、支社の諸員入り亂れて握手の雨、喜びの洪水だ

任俠江戸つ兒ファンの拍手を浴びて引き揚げやうとする時、驅け寄つた支社の方が、只今、輕井澤から電話がかかり、「奮鬪を謝し、優勝を祝す」とあり、これを御渡しせよとの事です

輕井澤？と聞き返しながら私は祝辭のやうなものを開いて見た

祝優勝、目録、一金〇〇圓也、山本條太郎

新社長、話せる！御禮を述べる、トタンに、うしろから「實のある電話だなあ！」

朗かな感謝と哄笑は目録を先頭にファンの人垣を分けて堂々？と凱旋行進だ

三、食堂車の二壘打

片山義勝博士は自他共に許す大連野球の育ての親の一人であるだけに、實滿倶チームが上京すると、行き屆いた御好意を寄せられるのに感謝する

昭和二年八月十日、松岡さんの握手、山本新社長の實のある電話、大きな優勝旗、喜びを[illegible]

滿倶一行は、宿で落つく暇もなく早くも午後八時の東京發列車で離京だ

同じ寢臺車に同車西下される、片山さんから、船の中で食べ切れるかしらと思ふ程、たくさんの御菓子を戴いた

しばらくして「おい中澤君、優勝祝に會食と思つたが、君達が即日出發で駄目だつた、さうだ、皆に食堂車をおごらう、遠慮なく、やるやうに傳へて呉れ」

「もう中數位は食堂車へ行つてをります」

「丁度好い、金を拂はぬやうに傳へたまへ」

私は、直に傳令を飛ばせて御好意を傳へた

私は片山さんの御伴をして食堂車へ行つた

おゝ、何と、にぎやかなテーブルの上よ、七八分も平げられたハヤシライスや、ライスカレーは其まゝ、殘骸だ、そして、新しく、スープが、フライ、フイッシユが、ステーキが、定食の打擊順だ、アイスウオター化して、泡ふく、ビールに

あちらも、こちらも食堂車の二壘打であり、三壘打の亂戰だ

戰ひ濟んで、旗持つて、兵站豐に後顧の憂ひなし矣

爆笑、渦卷くところ七色の氣焔あり、給仕君まで好い氣持になつて「ハイ、凱旋列車ですよ、景氣好く願ひますよ、ハイ、テキにカツと！」

四、情の封筒

昭和四年七月二十三日、埠頭は第三回都市對抗に出場する滿倶チームの[illegible]送りでにぎはつた

挨拶をすませて船に乘らうとした

その時、滿倶後援會役員の一人が私に、「これ、船の中で見て下さい」と西洋封筒を手渡しされた、競技方面に造詣の深い方だから、きつと「親切なる心得」に違ひないと思つて有難く、ポケットにをさめた

賑かな歡呼におくられて船は靜かに港口へ進んだ

「餞別、名刺其他全部記帳、御禮狀を出すから私の室へ」

私は、ポケットの封筒を出して、勢ひ好く封を切つた

「是非、勝つて來たまへ、輕少ながら、好きなものを食べて元氣をつけるやう」そして〇圓札が入つてゐた、一同は感激した

貝瀬謹吾氏の、この床しい、情のこもつた御好意に

五、都落に餞

連戰のあとの敗戰ほど淋しいものはない、六年八月、第五回全國都市對抗の第一回戰に、八幡チームと戰つて無殘一敗地に塗れた滿倶チームは、來年こそ！と悲憤を神宮球場にきざんで、八月十二日東京驛を出發した

見送りも少なく靜寂、都落の憐れだ、一人一人に丁寧に挨拶して乘車しようとすると、折柄上京中の貝瀬謹吾氏が

「汽車の中で」と封筒を出された

今度は、と思つたが、此の前「心得書」と即斷した失敗があるだけに、失禮とは思つたが、直に車中で拜見したら

「大連で大きなゲームもあるのだから元氣で歸り給へ、輕少ながら車中で好きなものを……」

私は主將走田君と二人で御禮を述べに降りて行つた

都落に餞、感謝を抱いた一行を乘せて特急富士號は炎暑の中を一路西へ！

六、和樂激勵

實業二回、滿倶五回の都市對抗出場、いつも戰ひを前にして東京支社長大淵三樹氏の肝いりで盛大な會食が開催される

出席者の常連は、片山義勝博士、小日山直登氏、小林緝治氏、平山敬三氏其他で、先づ大淵さんが挨拶される

その挨拶が、たまらなく有難い、たとへばし、今年は、少し弱い？と心配してゐると

「平常の力を二倍出せるところに鍛錬の效果があり勝利の榮冠があるぞ！」

顏觸れが揃つてゐる年は

「强さうなのが必ず勝つんでは勝負の妙味がない、手勢が揃つて而して士氣旺盛でなくては！」

どうも元氣がないやうだと内心案じてゐると、頭から

「一か八か、斷乎として突進あるのみ！」

と、いつた調子で、戰ひを前にして適切なる精神指導だ

それから前記の諸氏が、體驗、傳統、勝敗等に就いて語り且つ訓へられる

私は此の會合を、勝利の指針、和樂の激勵として感謝を捧げてゐる

七、朗らかなティパーテイ

昭和七年七月下旬、滿倶一行はうすりい丸で東上した、同船した大連少年團員十人程と、すつかり仲好しになつた

「東[illegible]ら應援に行くよ」

と、門司で別れた一行が、十日程して試合最中に神宮球場スタンドへ現れて、聲を揃へて猛烈に應援を始めた、口の惡い江戸つ兒

「默れ、匪賊の子供」「やかましい南京蟲」なんかと惡罵を飛ばすのを受け流して、勇敢に滿洲つ兒の意氣を見せて呉れた

其の夜、私は永澤主將と西瓜を持つて少年達の宿に行き勞を謝した

却説、歸路、うすりい丸に乘つた私は、門司碇泊中、甲板で、日下關東廳内務局長を、おみかけして挨拶をした

船が出る時、少年團員も同船してゐる事を知つた

午後になつて、日下さんからの御使が見え「同船の大連少年團員を御客さんに關東軍參謀副長岡村寧次閣下外幕僚の方々も御出席の茶會」を開くからとの御招きだ

喜んで出席した私が、先づ、岡村さんに、御挨拶しかけると「よく知つてゐる、私は野球が好きだしかつて滿倶が上海に來た時、應援した一人だよ」「これは失禮しました」で一同笑つて着席

日下さんから列席の人々を少年團員に御紹介があり、團員は母校姓名、ニックネームを自己紹介する、日下さんの懇切な御話がある、岡村少將が野球觀を語られる、團員が面白い訓話をされる、團員が内地見學の印象を面白く語る

和やかな二時間、哄笑の連續、時めく顯官と少年團員とが渾然として團欒、ほんとに賑かなティ・パーティであつた

思ひ出の謝意を茲に表し新春感謝列傳の稿を擱く、彌榮、彌榮

賀正 2594

大連

大連市内中等學校長一同

大連西崗商會
會長 龐睦堂
副會長 周子揚
王文川
電話四五八八番

關東州辯護士會一同

東亞煙草株式會社

大連郊外土地株式會社
大連市若松町五番地
電話（八四三三・五八二一）番

三好野
大連市磐城町
電話六五一二番

滿洲水產販賣株式會社
大連市加賀町四番地
電話（四五三八・六三三四一）番

永順洋行
大連市大山通
電話（四三三九・四八六八）番

大連木材商組合

滿鐵石炭指定販賣
同上荷役作業
硅石並ニ雜鑛物輸出
末永組
末永豐太郎
大連市越後町四番地
電話（五三四七・八三三四）番
周水子〇一九五番

遼東百貨店
大連市浪速町大山通角

藥品貿易商
株式會社 乾卯商店大連支店
大連市山縣通
電話（三〇一・五六〇九七）番

大連海運合資會社
代表社員 佐々木謙治郎
本店 大連市大山通八五 電話五三六七番
商扱所 大連北大山通四 電話七〇七六番

建築材料石炭販賣
德和公司
大連市近江町二
電話六一八一番

森永製菓會社
明治製菓會社 特約店
機械製 花アラレ類
掛物類 煎豆ピーナ
其他 各種
製菓卸問屋
木村屋分店
大連市若狹町四丁目一九九
電話六八六八番

ビクター蓄音機滿洲代理店
山葉洋行
大連市信濃町
電話代表四一四八番

營業品目 鋼鐵材、建築材料 諸工業機械、雜穀肥料
株式會社 大信洋行
大連市監部通四九
大阪支店 大阪市南區安堂寺橋通三丁目
奉天支店 奉天小西關大街
鋼鐵工場 大連市香取町六番地
製油工場 大連市千代田町十一番地
倉庫部 大連市東鄕町二五番地

大連市山縣通市場
電話七二三五番

日本賣藥株式會社
大連支店
大連市浪速町一四七
電話六一三九番

建築材料
藤川商店
大連市入船町二
電話四六三九番

機械工具 各種商
杉元商店
杉元篤衛
大連市連鎖街榮町通
電話（三八七八・五七九八）番

大連信濃町市場組合
電話四七六三番

船具金物機械、諸油塗料
岸洋行
大連市監部通二七
電話四三七六・六四二〇番

政記輪船股份有限公司
經理 張本政
大連市監部通三九
電話代表四一四一番

博多屋本店
大連市磐城町八九(西通筋)
電話四四五三番

食糧品卸商組合（いろは順）
爾宜田商店
中村榮吉商店
松井商行
三星洋行
京和洋行

大連油脂工業株式會社
大連市香取町二七
電話代表六一七一番

大連百貨店
大連市浪速町三丁目
電話四六五四番

大連人力車乘用馬車組合
大連市八幡町二
電話七〇三八番

株式會社 大連車夫合宿所
大連市八幡町二番地
電話六〇二〇番

滿洲特產輸出貿易商
瓜谷長造商店
大連市山縣通二三七番地
電話（四三四六・七三三二六・七三六四）番
發電略號（ウ）又は（ウリ）

關東州酒造組合

大連建築現業員組合

大連質屋業組合
電話七三九八番

ラヂオ電氣
內藤商會
大連市伊勢町九七
電話四二五七番

家具、室內裝飾、窓掛
天津絨氈、建築材料
リノリユーム類、ブラインド
品川洋行
本店 大連市敷島町三番地 電話六四五〇、二三七三番
新京日本橋通五九番地
支店 奉天浪速通十九番地

內外板硝子輸出入貿易
衛生防水煖房材料工事
松島商店
大連市山縣通一四九 電話代表五一八六番
同 建材部 電話五七七六番

大連取引所錢鈔取引人組合
劉仙洲
任召吉

株式會社 南昌洋行大連支店
大連市山縣通八八
電話代表六一一一番

明治製菓大連販賣所
大連彌生町八番地
電話七八七四番

文具繪畫品
測量度量衡
內田洋行
大連市連鎖街銀座通
電話（六四八九・五二六九）番

大連工業株式會社
大連市橋立町二
電話（四二一三・八六八一）番

議會政治と「獨裁政治の考察」

杉森孝次郎

一

議會政治と獨裁政治が目下、わが國においても大衆の關心問題となつてゐる、しかし、これは世上の多くの議論が心配するほどの國民的危機を意味する問題ではない

今日世上に現れてゐる議會主義者の議論は著るしく形式的だ、彼等は現在の議會制は勿論だが、現在の二大政黨のその儘の存在にすら固執するもの丶如くである、若し然らずと彼等自身が抗辯するとしても、然らば彼等の政黨と呼ぶところのものが何處にあるのかを吾人は問はざるを得ない、それは彼等の意中にのみ存するものであるならば、差當り問題とならないが、しかしそれにしても、それならばそれで、彼等はその意中の政黨を文章の上にでも表明すべきだ、さうするならばいくらかの參考となるかも知れず、又觀念的興味の滿足を買ひ得る。

しかし、事實の問題として、現在の日本の政黨がその儘立派に國民的存在理由を再び持つやうになるとは最も多くの人々が考へ得ざることだ、さればといつて、如何なる優秀なる現在の制度に取つて代はるべきものが國民の意識內に發達してゐるといふ事實もない。

二

世上の議論の中には議會主義のためにも、獨裁主義のためにも、殊に前者の場合、政治の必要ある理由と、現に日本が如何なる政治を具體的に必要とする狀態にあるかを充分に問ひ究むることなく議會主義は憲政の常道であるから一日もこれを缺くべからず、といつた風の議論が必ずしも少くない

吾人はしかし、今日の日本のためには、議會主義とか、獨裁主義とかを多く問題とする事情を有たない、現在の日本が必要とする政治が內政的にも、外政的にもある、これは政策であり、行政であり、立法であり、施設であつて、實質的なる政治そのものだ、吾人は、その實質的なる政治が、その實現の必要なる時機に間に合ふやうに實現さる丶ことを必要とする、その實現を與へ得るものでさへあれば、そのものが形式上、名義上、議會主義であらうと獨裁主義であらうと、大した問題ではない、大した問題は、その具體的に必要なる政治的行動が時機を失せずに實現さるべきことにある、勿論議會主義にしても、又獨裁主義にしても、そのいづれの派にしても、單なる形式に囚はれてゐるもの丶議論は惡い意味のアカデミズムに過ぎずして、何でもないやうだが、所謂政權慾に基づくものである限り、主として政權慾のためのものである限り、その兩派のいづれも存在理由はない。

三

日本は今何等かの政治を必要とするか、勿論或る政治を必要とする、然らばそれは如何なるものかの問題は實はこれをめぐりて決定さるべきものだ、その必要なる政治を明確に把握する識力あるもの、そしてそれを遂行する實力あるものが政治の局に當るべきだ。

日本は、然らば今日、如何なる政治を必要とするか、この問題は歷史に對する認識を必要とするものだ、卽ち、滿洲國は旣に創造された、そしてこれは日本のためにも勿論非常に大なる政治的意義ある現象だ、吾人はこれを明確に認識せねばならない。

滿洲國は今や創造に次ぐ建設の必要の時期に入つた、そもそも、滿洲國創造以前において、その必要を要するに意識し得ざりしが如きものは、今日、滿洲國建設のためにも政治當局としては不適材だ、しかし、現在の政黨及び議會主義者中、その滿洲國創造以前に、滿洲國創造の國家的必要を意識したものは必ずしも多くない、此處に實は現在の政黨及び議會主義者の無資格が存する。

しかし、他面において、滿洲國建設の必要の段階に入つた日本は滿洲國創造の段階におけるとは自ら異る必要を持つ、今日の日本のためには綜合的なる營みが殊に必要だ、軍事的國防と共に外交的國防、産業的及び經濟的國防、思想的及び教育的國防、又文化的國防等が揃つて必要だ、必ずしも國防といふ言葉を使はなくてもよい、もつと積極的に發展といふ風の言葉を使うてもよい。

最近、廣田氏の外相就任を轉機として、外交工作の語が非常に新聞紙上にも賑ふやうになつて來た、これは滿洲國が、今やその創造の段階を經過して、建設の必要の段階に入つたといふ國民的事情を反映する、かくして、外交の方法による日本の營みも當然多忙になつて來る、無論、軍、外交、産業、經濟、財政、思想等の間には機能的差別及び協力があらねばならない、たゞ、滿洲國建設の必要の段階に日本の入つた今日、その創造の當時に比して、外交や文化方面の國際的活動が、それ〴〵自分の方法による活動を刺戟され、要求されて來たのだ、吾人はこの機運に向つて國民的見地からして、最善の發展を與へればならない。

四

外交のみならず、國內政治的に今日の日本が必要とするものが勿論種々存する、都會及び農村の經濟に關するものは勿論その一つだ、都會は工業及び商業を意味し、農村は農業を意味する、今日、例へば增稅又は公債の問題が最も緊急なる一個の國民的問題として吾人に迫つてゐる。

例へばこの問題に對して如何なる態度及び行動を執ることが現在の日本の政治として正しいか、この場合にも、吾人は、現在の日本の非常時的財政問題を構成する契機は滿洲國に存在することを忘れてはならない、世間には、資本主義が爛熟の境に達したために最近の財政的危機が生じたと、簡單に見てしまう論者もあるが、かくの如きは勿論認識ではない、日本の場合、現在の豫算の內容が明らかに示すとほり、國防上の非常時的增大が存在する、これは現代に於ける民族主義の普遍的存在と日本の場合にあつては、それが具體的にはロシア、イギリス及びアメリカを環境とするものであることと更に又人種的に日本が有色人種に屬してゐること等を事由とするものである、資本主義がその代表的なる原因ではない。

されば、滿洲國の創造されたることが一つの必然であると同時に日本にとつて一つの必要であつたことを認むる限り、そして、その滿洲國の發生が日本にとつて非常に大なる意義ある事實であることを認むる限り、國家財政の上に常時の均衡を求むることは正しくない、吾人はこれを知るべきであると同時に、增稅にしても、公債にしても、前者の場合には現在の國內の産業能率を低める必然ある方法を執つてはならず、後者の場合徒らに負擔を將來の國民に移すことは勿論避ければならない、しかし增稅の必要ありと假定して、その事由は階級意識に基くものでなく、國防に屬するものであることが明示するとほり、その增稅が日本の産業能率、卽ち生産能率を低める種類及び程度のものであることは許容されない、何となれば、日本が今日の如く國際に自由に振舞ふ必要を生じたる限り、日本の力の弱化することは國防の見地からしても極度に避けねばならない、産業的に日本が弱化すれば、その虛に乘じて日本に强く出て來る外在勢力があると見ればならぬからだ。

しかし勿論、經濟的に中以下の階級に屬する國民の自發的支持が國防のためにも如何に根本的なる要件であるかは多くいふ迄もない、かくして、例へば産業資本の方面でも、軍需品工業に直接屬する部分の如きは、相當に稅を課せられて然るべきだ、そして農村のためにも、産業組合の保護の如きは必要だ、これらは現在の日本の當面する政治問題の一、二に過ぎないが、例へばこれらの問題のためにも、事實上、現在の政黨が何處までその解決の實力を國民によつて期待され得るか。

五

議會政治の論據は原則的には簡明である、それは

一、議會主義には一定の期限がある、日本ならば四年、イギリスならば五年といふやうに、されば、現在の無力者及び敗北者も次期の總選擧までに實力を充分に養成するならば、政權獲得、從つて政見實施の見込みが立つ、獨裁制にあつては通例、この期限がない、かくして、前者によれば直接行動及び陰謀がその必要を制限される

二、各人は自己の利益には敏く出來てゐる、されば一人一票を原則とする普選に從へば、結果としては最大多數の最大幸福が生ずる

三、議會主義は政治的に各人の意志表示を保證する

されば、それが單なる表示に止まり、政局を決定するに至らない場合においてさへ、一種の人間的必要の滿足がそれによつて與へられる、物いはれば腹膨る丶心地すといふが、議會主義はこの人間性に理解を持つ、なほその外にも、所謂反對黨の存在による政府の無智又は不正の制限、その他の價値が數へられる。

しかも、日本のみならず、世界的に、時代的に、從來の議會主義及政黨政治は著るしく信用を失墜した、純粹なる理論家の世界においては、それは殆ど時代錯誤に陷つたものとされてゐる、たゞ、實際の世界においては命脈が絕えない狀態にある、日本では、議會主義の主張者は、若くは擁護者は、西洋を見よと云ふ口吻で、自說を有力化せんとするが、イギリスにおいてさへ議會主義の評判は隨分前から頗る惡くなつてゐるのが事實だ、議會主義の不評判の原因は種々であり、吾人は今日、判つてもゐるが、吾人は今日、單なる形式に餘りに重きを置かず、必要なる政治が是非共なされねばならぬことに注意を更に向け、そして、その方を主として、なるべく將來のためにも害の少い、益の多い基礎的制度を持ちつ丶、その現に必要なる政治を實現することに重心を置くべきだと思ふ。（完）

州外野球界の動向

奉天倶樂部投手 小島多慶男

大正十二、三年頃現在チーム以外に鞍山、四平街、營口等の各チームがあつて、特に四平街の如きは、大連に於ける、全滿選拔野球大會に出場して第一回戰に奉天を破る等意氣當るべからざるものがあつたが、昭和時代に入つて漸くすたれ、現在の四チームが大物として殘つた

正に技倆伯仲、何れを强しとも定め難き實力を有して居たが昭和五年度奉俱漸く頭角を現し、國際球場新設と同時に大連滿俱實業兩チームを招き、三對一、四對一にて破つた、正に水平線に浮び上つたわけだ、同年當チームは內鮮遠征を決行し、八幡、京城、釜山に轉戰、州外チームの實力を外に示した、然し奉俱のみ飛拔けて強いのではなく、是に準じて撫順其他のチームも益々充實を示し、大連兩チームに驚異の念を抱かせた事は事實だ

昭和七年滿洲國建設と同時に運動特に野球熱の勃興は非常なるもので、新京に新京滿洲國チームの創立あり、又奉天には日滿實業起り、群雄割據の秋である、一昨年前關東軍司令官本庄閣下が運動奬勵の爲め優勝旗一旒寄贈されたが當年は事變の爲めつひに實施されず、昨夏各高官の後援を受け奉俱主催の下に第一回建國記念野球大會が開催された、滿洲野球界の新紀元と云ふべきである、又同年には撫順チームは東京遠征を實現し東京各大學チーム、關西にては關大、立命大と對戰、相當の戰績を殘し、新興滿洲國の意氣を知らしめた、又奉天滿洲國各機關內にも二、三野球チーム創立の話を聞く昨夏、すでに兵工廠に一チーム編成され、奉中と對戰して之を破つた等正に野球熱衝天の勢ひである

然し現在の滿洲國野球界はいはゞ過渡期と云ふか總ての點に於て恰度內地野球界の五、六年前と云ふ感がある、特に州外各チームに於ては新進選手の入部が比較的困難である爲め每年同じ顏觸れであることも向上への一大支障とでも云ふか、頭痛の種である

次に滿洲野球界に望み度い事は應援團の節制と云ふ事である、誰しも味方チームに勝たせ度い事は人情である、團體的並に個人的應援の盛んなる事は有難い事であるが、それは單に味方に元氣をつける激勵の言葉と、ファインプレーに對する讚辭のみに止めて相手方をくさすが如き野卑な彌次は止めて戴き度いと云ふ事である、過去は多事多端であつた、未來も亦多事多端なるべき滿洲野球界の事を思ひ、且つ健全なる野球の發達を熱望する

瑞圖金勝

張景惠

☆非常時の春

亡びざる『金』
この偉力に對する　財界の對策は如何

一

世界恐慌の進展と共に金が俄然世界經濟の前面に押し出された、然し今日の金は最早昔日の金ではない、大戰前後の十年間に金は流通過程から價値尺度の王座へと急速に變化して行つた、然るに今日では又その王座を奪て、赤裸々な姿で世界經濟の前に現れてゐる、世界經濟と金との連繫に何等か劃期的變革を齎すかと思はれた世界經濟會議も結局金の威力の前には慘めにもひれ伏した、過ぎし一九三三年は正にこの失敗を頂點として絶えず金をめぐる懊惱に明け暮れした年といはねばなるまい

二

我々は先づ現在世界經濟を自由に操つてゐる新形態の金が何であり如何なる威力を示しつゝあるかを見やう、今日金の威力をみるには便宜上二つの立場がある、即ち靜態と動態とにおける金である 靜態としての金の威力は現在ではそれが最有力の投資商品たることである

嘗て十九世紀の初頭イギリスは率先して金を王座に据ゑた、これが世界を刺戟し戰前には各國爭つて金本位に服した、その後戰時には一時停止を余儀なくされたが一九二五年以後再び勢力を盛り返して來た、然し戰前と戰後の金本位には著るしい性質の變化があつたことを知らねばならぬ、それは金貨の流通が根絶し、最早金が現貨の姿で我々の面前に現れる必要はなくなつた、金は信用經濟の高度の發展によつて價値の尺度として完全に見えざる王座にかくれたのである

若しも世界經濟が順調な動きを示して居ればこの王座はそのまゝ維持されたかも知れない、然し近來信用經濟の破綻、殊にアメリカの金離脱以來は再びこの王座から辷り、價値の尺度としてゞはなく商品としての金が要求されつゝある、金が商品として如何に世の信用を聚めてゐるかを次の例によつて窺はう

金産額の增加と共に毎年激增してゐた世界の貨幣金在高はドイツ景氣研究所の調査によると一九三三年上半期に八億六千萬マルクの減少を告げてゐる、この傾向は殊に金本位國に於いて甚だしい、昨年三月世界貨幣金在高五百三十億マルクの中四分の三は金本位國が占めてゐたが、六月になるとこの割合は五分の二に減つてゐる、之が原因は言ふ迄もなく夥しい金退藏である、反面にそれは信用の崩壞を意味する

一方金本位停止國においてもかゝる現象は變つた形において見出される、即ち金退藏は許されないが、國内の金相場は奔騰し金への憧れに拍車を加へた、ナヒモフ號の引揚げや旭金山の採掘が單に一片のエピソードとして殘るとも、十九世紀のゴールド・ラッシユが、今日姿を變へて再現しつゝある事實は何人もこれを肯定するであらう

これを要するに從來金を價値の最高尺度として祭り上げてゐた信用經濟は崩れ始めたが、有力なる投資商品としての金は依然萬人歸依渴仰の的となつてゐるのである

三

靜態に於る金が價値の尺度から商品へと轉向した事實は又金の動態としての威力を構成する、一九三一年九月イギリス金本位は悠乎として地に墜ちたが、その裏に巨額の國際金移動が行はれた、その主因はロンドンにおけるフランス資金の引揚げにあるが、それが過去における動態金の威力であつた 然し現在では投資商品として安住の地を求める金の移動が頻々として起り、新しい意味における動態金の威力を示してゐる

昨年三月世界金本位の一方の牙城アメリカが沒落した、これと共に殘存金本位國の通貨不安が增大し資本を金に換へんとする傾向が急激に醸成された、一方從來金本位國に逃避して居た外貨は通貨不安を眺めて恐慌的引揚に見舞はれた、然らばこれ等の金は何處へ流入して行つたか、それは當時ポンドの安定に成功しつゝあるイギリスへであつた、然し何時迄も一ケ所に止まるやうな金ではない、ポンドが少しでも弱氣的樣相を呈し一方金本位國の通貨が比較的安定して來ると再び還流を開始する 世界經濟は全く商品金の氣紛れな移動のために轉手古舞を要求される、かうした金の移動がある度に、すは爲替平衡資金出動、すはポンド賣りドル買ひ、すはフラン防戰買ひ等々と各國財政家を狼狽させる

四

中世ニケーヤの宗教會議以來初めての歴史的大會議と謳はれた世界經濟會議はこの困難なる金問題の解決を見出すのが目的であつた、會議第三日早くもイギリス代表チエムバレン藏相及びアメリカ代表ハル國務長官は口を揃へて國際金本位を提唱した

一、通貨の暫定的安定を計る事
一、正貨準備の減少、國際金融の回復
一、國際的金本位制の採用

而してこの提唱を裏書するかの如く英、米、佛の間に爲替協定が進められた、所がこの協議の裏には根本において相容れざる二つの立場が對立してゐた、それは通貨安定を第一義とする金本位國、第一義とは認めないアメリカの對立がこれである、果然其後に至つてアメリカは協定を眞向から打壞す不信した態度を執り、結局期待された國際金本位も有耶無耶に終つた世界監視の中に金を昔の王座に復へす試みは慘めにも失敗した

一方經濟會議において徹頭徹尾矛盾だらけの行動を執つたアメリカは、兎も角も獨自の復興策を講じた、物價を一九二六年の水準へ――この目標に向つてアメリカの朝野は進軍を開始した、然しブレーン・トラスト（頭腦帷幄）の參謀諸氏はその出發點において金の威力に些か誤算を逡げた、「健全通貨」を譲りながら、物價水準を自由に引上げ得ると信じたことである、言ひかへると金の相場を上げないで價だけを上げやうと試みたのである、然し復興金融會社による金買上、それに端を發したウッディン財政長官、スプレーグ教授等健全通貨論者の退却を機として、インフレ強行へと鮮かな轉向を示したルーズヴエルト政府は、結局において金の威力に屈服したと言ひ得る

五

かくの如く王座は昔のまゝではなくとも金は依然として亡びない

價値尺度と商品――金の有するこの二重性は金に立脚する貨幣論の上にも是正乃至轉換を要求して來た、アーヴイング・フイッシヤー教授によつて創始され、ルーズヴエルト頭腦帷幄の一員ウォーレン教授によつて祖述されてゐる補整ドル乃至ラバー・ダラーを一つの例に取らう、それは從來の幣制は一定不變の金純分を含む通貨を價値の尺度とし、それによつて物價の高下を表してゐた、然し新しき補整ドルによる幣制は物價指數を尺度としその高下に從つて通貨の金純分を增減させやうといふのである、この學說は今のところ未だ一片の理論に過ぎないが、アメリカ政府のインフレ轉換以來その金買上げに關して白熱的論爭が演ぜられてゐる折柄ルーズヴエルト大統領の如きも反對を押し切つて所謂「商品ドル政策」を強行する決意を示してゐる、何れにしても商品としての金の暴威が從來の通貨政策に根本から變革を要求しつゝあることは事實である

斯くの如く一九三四年の初頭に立つて我々は依然として亡びざる金の威力を見る、この威力に向つて世界經濟は又如何なる對策を

無黨無偏王道平平
日居月諸于今三年
袁金鎧書

◇名士の春◇
若槻民政總裁（右）と鈴木政友總裁の家庭

賀 正

賀正

皇太子殿下 御降誕第一年の瑞祥靉靆たる新春を迎へ、東亞永遠の平和確立を使命とする皇國の善隣滿洲國に於ける諸般の工作愈々整備充實して王道八紘に光被せんとする榮ある年頭に際し各位の御健勝を奉祝福候　客歳五月末弊社創立以來絶大なる御眷顧御引立を蒙り御蔭を以て社業は順調なる伸展を遂げ、相當の成績を以て第一期決算を結了仕り候段難有奉深謝候

唯だ事業草創の折柄とて、十分御期待に添ひ兼ねたることは洵に慚愧に堪へず衷心より御詫申上候今弊社第二期の首途に當り、陣容一新、飽くまで大方の御期待に副ひ奉るべく、萬全の方途を講じ度く、先づ販賣の中心を滿洲國產業の中心奉天に置き西は遼西より熱河に、北は新京、ハルビンを越えて北滿に、東は安東通化より間島方面に至るまで完全なるサービス陣を布きて、滿洲國興隆の爲め熱血の努力を以て寄與せんことを期する次第に御座候

何卒奉公の微衷御諒察の上倍舊の御高庇御聲援を賜り度く伏して奉懇願候

略儀ながら紙上を以て年頭の御挨拶を申上度如斯に御座候　敬白

昭和九年一月元旦

大連市常盤橋畔
株式會社 滿洲モータース

奉天千代田通三八
奉天支店

新京八島通三二
新京支店

熱河省朝陽駅前
朝陽出張所

文藝復興期か？
――新春に直言す――

新居格

文藝評論

私は依然として箇々の作品批評はやらない、それは多分讀者の多くがさう澤山新春の諸雜誌に掲載されてゐる作品をよんで居られるとは思はないからである、正直にいふと、私の如き文藝界に籍を置くものと雖も、必要に迫られた場合以外にはさう多くは讀めないものである

實のところ文藝界には暮も正月もない、それ故に前年度の文藝界を振り返つて決算的に評論したり新年度の豫想をしたりすることは――雜誌新聞の上では恒例的に試みられるが――わたしはそれを殆んど無意味に近いものと見る、そんなことに拘泥せずしてわれわれが論ずべき問題を取り上げて行けば事足りるばかりでなく、それが文藝評論の職能である、その意味から私は最近の問題と並に文藝そのものに關して言議したいと思ふ

先づ第一に云ふべきことは、海外の新文藝が非常に廣く、且つ多くしかも迅速に移植されつゝあることである、例へばフランスの作家ジュール・ロマンの「よき意志の人々」が、かの地で評判になると殆ど時を移さず飜譯されつゝある、但しさうした飜譯を掲載する雜誌は特殊的な雜誌で新聞紙に大きな廣告を出したりしないから廣くは知られてゐない、文藝界の人々の間にさへ一般的には顧みられては居ないと云つていゝ、しかし私は、毎時好んでさうした雜誌に注目してゐる、一職の若きそして篤學な海外文學の研究者が居る、それは各國の最近文學を移植しつゝあるのである、曾て英文學の研究者は概して古典に親んでも現文壇に對する關心において缺如するところがあつたが、近年になつてはむしろ現代文學への接近に加速度的に努力して來たかの感がある、わたしは無論それは極めて歡迎すべきことだと思つて居る

◇……◇

以上に述べた傾向は確にわが文藝界が直接間接に刺戟すると思ふ

各國の文學はそれ〴〵に特殊性を持つが、また一面からすれば、同じやうなところもある、といふ意味は一つの國にある流派と傾向とは程度に多少の差こそあれ同樣に他の國にもあるからである、日本の文藝界も仔細に點檢するとかなり複雜なものがあるといへるのだがその複雜さがまだ一般的な認識にまで延び上つてゐないとはいへもする

私は右に述べたやうな連中は所謂文壇人と指稱されつゝあるものゝむしろ外側にゐる、しかし彼等の好學な文學的從事は所謂文壇を高める効果はあるのだ、だが彼等に屬する缺點は知識の蓄積に片寄つて生活に對する不熱心さである

彼等の間から所謂文壇に入つて來た批評家達はよくいへばアカデミックであるが、惡くいへばわが國の現在的な文藝に對する放心から事實に卽さない抽象論に走る弊がある、西脇順三郎氏の評論の如きはそれの一例である、繰返していへば文學を學問的に考察してゐるのはいゝが、その代りにわが國の作品に對する鑑賞において足りないところの遺憾はあるのだ、それに反して海外文學には不注意であつても、わが國文藝界の諸事に通じ就中作品の鑑賞に疎でないものはその批評の表現は非アカデミックではあるが却々に剴切な意見を吐くのである、だがわたしの望むところは二者を兼備することの必要さである

或る批評家がいつた、創作に純文藝作品と通俗小説とがあるやうに、批評にも文藝的なものと通俗批評とが分けられてもいゝのではないかとその見方は一寸面白い、しかしこれも亦嚴密にいへば、文藝批評が專門的になり研究的になることにもいゝところがある、わたし個人としてはその傾向に味方するものではあるが、その方で持たれる缺點は前述したやうに抽象的文藝評論に墮することである、批評がアカデミックになることはいゝが、そのために作品の鑑賞が閑却されがちになつて理論のための理論になる、もう一つには文藝論に閉ぢ籠つて廣く社會の動靜を視野の外に置き勝ちになる

◇……◇

一方所謂通俗批評とも稱すべきものは常識的凡庸に墮する弊がある、それはヂャーナリズムの好寵を得ることにあり、思ひ付きとして面白さ若くは適切さを示すことがあつても文藝上の本質的な進歩に附け加へるものが案外少ないのである、たゞそのよき方面について云へば作品の鑑賞に比較的に注意をもつことから文藝界の具體問題に寄與するところがあることである

文藝界の全體の調子は依然としてヂャーナリズムの支配下に在るであるから文壇に活躍しつゝあると云ふ存在はヂャーナリズムの範圍の中から拾ひ上げられるのが常である、だがその見方は著るしく皮相的なものだといへる、しかしまた文藝界に限らずどの社會でも世間一般の評價は表面的であるのが常だ、そして具眼の士のみが混沌のうちに採るべきものを採るだけで殆どはきはめて大雜把な見方で片づけるものなのである、その點に對するハッキリした認識がないものは見識の自主性のないものといはれればならぬ、で若しも現代の文藝界に對する評價をヂャーナリズムの範圍内に於て下すものがあるとすればその人は眞に文藝の何物であるかも、また文藝界の眞の動靜をも知らないことになるのだ

昨秋あたりから文藝復興の聲がポツリポツリ上がつた、三四の純文藝雜誌も事實上刊行もされた、しかし文藝復興の社會的要因がどこにあつたか、わたしをして直言せしむるならば文藝復興を招來する何の理由もなかつたことを指摘するより外はない、むしろ文藝復興の聲こそは逃避者の幻想に過ぎないのである

若し文藝復興の必然がありとすればそれはそれが促す精神がなければならぬ、而してそれは當然に社會的理由と結びつけられてあらねばならないのだ、が果してそんな新精神があつたであらうか、さうした新精神があれば、それは自發的に醸解すべきことであつて、人爲的につくり上げらるべきではない、然るに去年あたりから動いて來た文藝復興はむしろ策されたもので、氣運が醸成したものではなかつたのである、それに就いてわたしは一應の説明をしたい

◇……◇

由來文學者ほどお調子ものは少ない、彼等は感情において稍鋭く文字の驅使において稍特殊技能をもつものゝその信念の動搖性に至つてはむしろ醜いとさへいへるものがある、少しく好調に向へば得意になるが、逆境に處すれば見る目も無殘なほど悄げる、見よ所謂プロレタリヤ文學がやゝヂャーナリズムより好遇をうけた時代の彼等の得意さはどうだ、しかしその得意時代が既に變調で間違つてゐたのである、ブルジョア・ヂャーナリズム中の一流派としてのプロレタリヤ文學そのものが既に奇現象だつたのである、プロ文學好調期にその陣營へ流行的轉向をした文士の如何に多くそして彼等が後になつて逆戻りすることの多かつたのはどうだ

男子の操守はさう容易く變へるべきものではない、よしその信條がどんなに迫害されるにしても一たび執つたものは容易く變へてはならないのだ、その點何の立場にあつても同樣である、今日民族主義國家意識の擡頭のためにプロ文學の地位は慘落した、そしてその派に屬する文士は各種各樣の轉向をしたのである

或は轉向を強制され或は自ら轉向し或は卑怯な沈默にかくれ或は文學に逃避し或は文學の和らげられた表現形式――例へばプロ文學でもない自然主義的手法――に後退した

他方何も知りもしない癖にファッショ氣勢につれファッショ文學なるものを急造するものもあつたが、それの文學的結實は少しも示されないうちに自然消滅したやうな團體もある、敵にしても味方にしても頼りないものだといふことを完全に自證したのは愉快なことである

文學者は激しい社會の動靜に對しては弱い葦の葉でしかない、弱いが故に時々の風に搖られつゝ柄にもなく動いてはみたが結局のところ文學者は文學にといふ焦點に立ち返つて來たらしい、プロ文士と藝術派文士とが天下平和の際には源平相容れざる對峙を示してゐたのが今日相寄つて文學の一點に繋がり合ひ自ら稱して非常時内閣に擬するが如きは笑止の極である、がかくの如きは社會的動靜の正視に當面に耐へざる文學的逃避だ、と私は斷言して憚らないのである

新しい文學精神は如何なる意味でもの逃避から生まれない、むしろ今日の如き社會の激動こそ文學の新運動を捲き起すべき絶好の機會である、プロレタリア文學が嘗て浮揚性を淸掃して眞のプロレタリヤ文學の生誕を迎へるための絶好の試練期ともいへる、社會不安が不安の文學ともなり、絶望と虚無的暗鬱がまたそれにふさはしい文學をも生むのだ

今日言論の壓迫かなりに烈しいことは文學の面では同樣に表現の自由性が奪はれてゐることである、文學は如何なる意味合でも拘束を嫌ふ、そこに文學に取つての本質的なものがあるのである、何時如何なる時代においても強制と統合とを力説する必要のある時代は文學にとつてのよきコンデイシヨンではない、政治的にまた經濟的に社會が緊張してゐる場合それは必ずしも文學にとつてのよき時代ではないばかりか却つて文學のためには退嬰時代でもありまた都合によつては一種の暗黑時代かも知れないのである

イタリーにおける文藝復興は中世紀における暗黑時代の後に來たことは歷史のわれわれに敎へるところである、今日文學がその驥足をのばすに極めて窮屈な時代にどうして文藝復興がありうるか

今こそ文學は文學のための非常な試練期である將來に華さく文學は社會の動靜に添うてのみ生まれるものを逃避的文學集團を目して復興態と見るが如きは根本の誤謬である

今日ヂャーナリズムの黄昏に、陰影の如く登場せる作家と批評家の群には明日の期待は持てない

わたしは今日文學が行くべき眞の道程が社會動靜のうちからいろんな意味で暗示されるのをむしろよろこぶものである（完）

新春ゴシップ

馬は稼げど

いま賣出しのナンセンス作家サトウ・ハチロー君の嚴父佐藤紅綠氏は、文壇で菊池寛氏と並稱される競馬通、自分でも數頭の馬を持つてゐる。ハチロー君正月の小遣ひを當て込んで

「親愛なる親父どの、馬ばかり買はないで、幾分かこつちへもお廻し下さい」

と書いてやるとその返事に曰く

「馬は稼げども、倅は稼がず」

四州老まゐる

野球批評で有名な太田四州氏、「日本のスポーツマンはどうも壽命が短くていけない、少くも五十歳位までは……」と大きく出たつもりでゐると、このほど六十幾歳のテニスの小脇源次郎老（三井物產）から挑戰狀を送られて目を白黑。以後「六十歳位まで」と訂正

苦情聯盟

森田理事問題に始まつて、昨年中もめ通した陸上聯盟、今年は圓滿にやりたいものだといへば、誰かゞ

「そりや駄目だ、圓の一字を取りのけて見給へ、クジョウ聯盟だもの」

碁仇はハゲ一覽表

關東ガス社長の河西豐太郎氏、しきりに指を折つて

「大同の增田さん、東信の浦山君、それに[illegible]さん……」

と數へてゐると、粗忽な客が

「ハゲ頭の仲間ならまだいくらもありますよ」

に河西君眼をパチクリして「イヤ、碁の友達のことです」

恐い花嫁練習生

いかにスターでも女とあれば、いつかはお嫁にゆかねばなるまい――とあつて、松竹蒲田の撮影所では獨身女優連に茶の湯、生花、琴、割烹など花嫁學を勉強させることになつたが、お割烹着甲斐々々しく集つたのが川崎弘子、逢初夢子、水久保澄子、坪内美子の面々、オムレツだのコロッケーだの頗る怪しげなのを、つくつてはパクつき、つくつてはパクつく。お手並拜見と手ぐすねひいて待つてゐた岡讓二、大日方傳などといふ連中の口へは、一向に廻つて來ない、男優連さう〳〵業を煮やして

「女優を女房に持つたらそれこそ妻難だれ、何しろ彼女等はお料理一つ滿足には出來ないんだからな」

と毒づけば、おとなしい坪内美子まで眉を逆立てゝ

「イーだ、料理番もゐないやうな家へはお嫁に行つてあげないわよ」

よいよいよい

年は變れど東京音頭は相變らずの大流行、あるおせつかいなのが

「猿之助か三津五郎あたりにあれをやらして見たいね。きつと入るぜ。やあとなアそれよいよいよい……それ」

といへば、傍から

「よいよいなら默右衞門に限るぜ」――

シッ、聲が高い。

賀正

大連

月星サイダー製造
月星合資會社
大連市西通
電話㊂四五七二番

活版、石版、印刷、紙、文房具、印刷材料
小林又七支店
印刷部 大連市若狹町三三 電話代表六一六一番
販賣部 大連市大山通六三 電話六二二七番

度量衡
水上洋行
大連市惠比須町五三
電話六九四一番

文具の天野
浪速町
翰墨林
電話四九九四番

浪速樂器店
大連市大山通三〇
電話二二六一二番

露西亞毛皮貿易商會
大連市大山通り三十六番地（林洋行隣）
電話二一八一八番

成三商行
大連市愛宕町七四
電話四二七五番

夏川大連支店
大連市浪速町三丁目
電話五二二〇番

大連實業藥劑師會一同

マツヤ洋服店
大連市連鎖街常盤町通
電話八八八八番

電池器具販賣並ニ工事請負
佐藤電氣商會
大連市伊勢町浪速町角
電話七〇六三九、六七七番

寫眞機械材料、活動寫眞機械、材料直輸出入
橋詰洋行
大連市大山通
電話㊂六〇五五番
振替大連三一四二番
電信略號（ヘ）（ハシ）

大連市信濃町一二三
藥種 賣藥
石川萬壽堂
電話四三四四番

機械商
鴻恩洋行
大連市山縣通百六十八番地
電話（八七）三八五七九七番
振替大連六三六番

直輸入貿易
滿德洋行
大連市信濃町六一
電話二一九一九番

榮商會蓄音器店
大連市伊勢町五二 電話八三九〇
大連市連鎖街心齋橋通 電二二〇七

西洋酒、洋貨直輸出入商
パイジス商會
大連市西通九三
電話四五六五番

山本運動具店
大連市伊勢町九四
電話五九七九番

濱崎商店
大連市汐見町
電話七五二一、七一六八番

吉野洋服店
大連市山縣通一二九
電話四九四六番

三島屋洋服店
大連市岩代町八
電話六五四九番

溝上洪盛堂藥舖
大連市伊勢町
電話七〇八〇番

諸官衙御用達
三陽疊店
大連市近江町三三番地（東拓向入ル）
土居三二
電話三三七三番

薪炭、石炭商
村上寅造
大連市吉野町三〇
電話四九三七番

滿壽屋モスリン店
大連市磐城町一八
電話五二〇七番

小崗子露天市場事務所
電話三七二四番
大連市橋立町一〇

夏木瀨印刷所
大連市岩代町四三
電話六三三七番

諸機械器具農具商
蘆田洋行
大連市山縣通六三番地
電話㊂三四〇六番
振替口座大連四二三〇番

運動具商
玉澤大連支店
大連市連鎖町京極通
電話二二三七番

大連飲食店同業組合聯合會
大連市伊勢町四四
電話三八四五番

家具裝飾、內外敷物、漆器類
渡邊洋行
大連市信濃町市場前
電話八八三七番

煖房器製作販賣
煖房衛生裝置工事請負
竹山商店
大連市山手町四
電話六五五三番
奉天支店
奉天松島町十二
電話四一三一番
新京支店
新京日本橋通七〇
電話二四九六番

礦油、酒精、金物、機械、保險
出光商會支店
大連市山縣通八〇
電話代表六一九一番

畑中商店
大連市吉野町四十一番地
電話七六三九、二二四五、七一七九番

ストブペーチカ商
山下卯之助
大連市監部通一二〇
電話二一六一六番

雨蓮社
大連市伊勢町一〇六
電話六五五八番

栃木農園販賣所
大連市伊勢町
電話四四〇九番

福田硝子店
大連市濱速町七九
電話三一四二〇、三一六三番

煖房水道衛生銅像製作建設請負業
高石商會
大連市監部通一〇九番地
電話三五〇二番
振替口座五四二二番

西岡自轉車商會
西岡茂次郎
大連市伊勢町日本橋際
電話八〇九七番

和洋紙文房具店
水田洋行
大連市伊勢町五二（浪速町通）
電話四四八九番

果實商
ミノルヤ果物店
大連市西通一一五
電話三八七三番

家具裝飾
美風堂
大連市伊勢町一〇一
電話三〇五五番

深尾商店
屋舖健治郎
大連市但馬町三四番地
電話四二八二番

食料雜貨商
朝日屋
大連市越後町六
電話三九一一番

銘酒白雪 サクラビール 丸辰醬油
鈴鹿商店
大連市伊勢町一二三
電話四八五八番

家具裝飾
合資會社 滿蒙工業所
大連市伊勢町六二
電話七九六八番

和洋雜貨
野崎洋品店
大連市濱速町三丁目
電話三二七九番
大連百貨店內
十番洋品部

日清製油株式會社
大連市寶町三
電話四一六五番

紫檀細工責任販賣
日支公司
大連伊勢町（吉野町角）
電話六七四八番

大谷藤七支店
大連市濱速町三丁目
電話七〇四一番

チユーリン商會大連支店
大連市山縣通四二
電話二二〇二五番

川越齒科醫院
大連市伊勢町九四
電話六五三五番

銘酒 菊正
鐵谷商店
大連市監部通五六
電話七〇四二番

紙商
水田洋行本店
大連市浪速町
電話四四八九番

ラクダ屋本店
大連市磐城町五二
電話五七四八番
支店 大山通二四
電話三六一九番

イワキホテル
大連市監部通吉野町角
電話代表七一六一番

旅館
鎭西館
大連市信濃町六一
電話七一四六番

東鄕旅館
大連市信濃町三五
電話八一六七番

大衆向季節料理
此花
大連市大山通郵便局横
電話八八一四番

さくら壽司
大連市西通一一五（ガス會社前）
電話三三八五番

牛鳥料理
おきな
大連市吉野町八五
電話八二四八番

大連石炭商組合

滿鐵特約販賣人

佐藤組
電話四八七八番

共同組
電話四三〇九番

鶴田號
電話六〇〇〇番

熾昌厚
電話四六七三番

宮崎商會
電話五三一九番

東華公司
電話五六四五番

東萊洋行
電話八四八四番

大宮組
電話五六六一番

中部大連カフエー・バー組合員一同（次第不同）

サロン日輪　電話七〇二九・四七三三番
カフエートリオ　電話五九五三番
カフエードン　電話二一九四五番
カフエールナ　電話二二五二番
カフエーワカナ　電話三五四三・六六九七番
バーヨネ　電話二〇四九番
カフエー養老　電話二一六六番
カフエータイガー　電話三九〇一番
バータマミ　電話六四九九番
ミス・ダイレン　電話六〇二九番
ラツキーバー　電話二二七〇番
カフエー赤玉　電話七五九四番
カフエー京極　電話二二五六番
東ラツキー　電話二二〇五・二一九四三番
カフエーユニオン　電話二二五七番
カフエー連鎖會館　電話二二一五番
カフエー新興　電話二二二三番
カフエー日光　電話二二六一番
サロンミチル　電話四四六一番
カフエー小蝶　電話七四九〇番